

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	公共交通機関が便利で綺麗な都市	将来インフラ系に就職し、まちづくり、都市作りを支えていくこと。
令和7年度	持続可能で自分たちの子供たちが不自由なく暮らせる社会	温暖化ガスの排出を減らし、温暖化を止める
令和7年度	貧富の差が少ない社会	寄付などをして、格差是正に協力してゆくこと
令和7年度	老若男女・どんな障がいや障壁を持つ人も公平に過ごすことのできる。便利な社会。	普段からどのような人にも気づかいをする姿勢。また、現在日本が抱える社会問題について考える姿勢を持って生活すること。
令和7年度	エコな交通手段がたくさんある街。	電車や自転車、徒歩を積極的に使う。
令和7年度	エコな世界	ごみを分別すること
令和7年度	貧困のない社会、特に構造問題のない社会	自身の財力等で解決することは不可能なので、貧困層に手厚い政策を行う政治家の支援など行政からのアプローチ。
令和7年度	2030年の時の子供の世代が今と変わらずに教育を受けられたり、十分に満足のいく生活を送れるような社会	今の日本の財政が少しでも良くなる一因になれるように働く
令和7年度	老若男女関係なく快適に暮らせる世界	ご老人など困っている人がいたら声をかけて助ける。(例:優先座席とか)
令和7年度	私が住みたい社会は、一人ひとりの違いを否定せず、互いを尊重し合える世界である。年齢や立場、価値観の違いに関わらず、誰もが安心して暮らせることが大切なのではないだろうか。また、環境問題や貧困といった社会課題に向き合いながら、今だけでなく将来の世代にもつながる、持続可能な社会を実現したい。	私ができることは、日常生活の中で社会課題を自分ごととして考え、行動に移すことだと思う。例えば、マイボトルやエコバッグを使うなど環境に配慮した行動を心がけたり、大学での授業などを通して、多様な考え方に触れ、相手を尊重する姿勢を大切にしたい。まずは身近なことから取り組み、少しずつ社会に良い影響を与えていきたい。
令和7年度	だれもが資源やエネルギー食料に困らなくていい世界がいいです	資源やエネルギーは無駄遣いせずに食料もロストを減らすことが大事だと思います
令和7年度	信条や性別、人種に関わらず人びとが幸せに暮らせる世界。相手の個性を認め合いながら、自分自身を個性も成長させることのできる世界。	選挙に参加する。相手の話をはなから否定せず、真剣に聞きその人の背景に思いをはせる。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	ずっと安全に住める社会	ゴミの分別など、できる配慮を怠らないこと
令和7年度	身体が不自由になっても精神的に不自由のない世界	身体に障がいがある人を日常的に助けること
令和7年度	人々が将来に希望を持って暮らせる世界	金融に関する知識を身につけ、人々のマネーリテラシーの向上に寄与する
令和7年度	人それぞれが他人を思いやり、環境を大切にする気持ち持って、住みやすく街中にゴミなどが落ちていない社会。	まずは自分がゴミの分別やリサイクルを徹底し、他人にも呼びかける。
令和7年度	半永久的に資源を利用することのできる社会	資源の再利用に努め、極力無駄な消費も避ける
令和7年度	障がいを持っていたり体が不自由でも他の人と変わりなく差別されずに生活できる社会	普段から体が不自由な人などに対して気にかける。優しくする。、
令和7年度	みんなが安心安全に暮らせて、感染症などの心配がない公衆衛生が整った綺麗な社会。	ゴミを町中に捨てない。近所の人と仲良くして防犯意識を高める。
令和7年度	フードロスの少ない社会	料理を頼みすぎない、残さない、食材を買いすぎない
令和7年度	住みやすい世界	納税
令和7年度	皆が平等に暮らせる世界	フードロスを削減する・水を大切に使う
令和7年度	緑が豊かな社会、世界	温暖化などで植物がやられないようにエコバッグを使ったり車の使用を減らして公共交通機関を使う
令和7年度	大学のような社会で、一人一人が、その自分の個性に対して他人の批判を浴びることなく興味をのびのびと伸ばすことのできる世界。	財政面の補助ができなくとも、他人の好きであったり興味のある分野、才能をつぶさないように認める態度をとることや、他人に深く干渉しすぎない生き方も大切だと感じる。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	悪臭や騒音等の問題がない世界。	悪臭の元となる製品を使わない。夜に外で騒いだりしない。
令和7年度	教育の格差のない世界	過去に使った教科書などを送る
令和7年度	<p>私が住みたい社会・世界は、毎日の生活の中で「不安が少なく、当たり前の暮らしがきちんと守られている社会」です。SDGsで掲げられている「誰一人取り残さない」という考え方のように、特別な人だけが得をするのではなく、普通に働き、学び、暮らしている人が安心して生活できる世界に魅力を感じます。</p> <p>例えば、働いている人が長時間労働や低賃金に悩まされず、きちんと休みながら生活できる社会や、病気やケガをしたときにお金の心配をしすぎず医療を受けられる社会です。また、環境問題についても、我慢を強いられるのではなく、エコな選択が自然にできる仕組みが整っていることが大切だと思います。こうした社会は、SDGsの目標である「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」「住み続けられるまちづくり」にもつながると考えます。</p>	<p>私にできることは、まずは日常生活の中でSDGsを意識した行動を無理なく続けることです。例えば、食品ロスを減らすために食べきれない量を考えて買い物をしたり、エコバッグやマイボトルを使ったりすることは、特別な知識がなくてもすぐに始められます。</p> <p>また、身近な人への思いやりを大切にすることも重要だと思います。アルバイト先や学校などで、年齢や立場が違う人の意見にも耳を傾け、困っている人がいれば声をかけることは、「働きがいも経済成長も」や「人や国の不平等をなくそう」という目標に少しずつ貢献できる行動だと感じます。</p> <p>将来的には、仕事を通じて社会や地域に貢献できるような働き方を選びたいと考えています。利益だけでなく、人や環境への影響を考える姿勢を持ち続けることで、SDGsを「意識するもの」から「実践するもの」に変えていきたいです。</p> <p>このように、身近な行動を積み重ねていくことが、理想の社会・世界を実現するための第一歩だと考えます。</p>
令和7年度	困ったときのサポートが充実している社会	たくさんの税金を支払う
令和7年度	貧困のない社会	資源の無駄遣いや無駄な買い物をしないようにすること。使わなくなったものの再利用に貢献すること。
令和7年度	使われず捨てられる食材が最小限の世界	アルバイトでは商品が余らないように適切な量を作る。スーパーで買った食材は使い切るように心がける。食べきれないと思ったら冷凍保存などする。
令和7年度	持続可能な社会を実現するために個人個人ができることを考え実行するような社会。	バイト先のカフェで廃棄物を無くすために店舗在庫の確認を怠らないこと。豆かすの再利用やプラスチック風のストローなどより環境に配慮したものを扱っていることを積極的にお客様に伝えて取り組みを知ってもらい、環境配慮について考えるきっかけを作ること。
令和7年度	経済的な豊かさだけでなく、人と人とのつながりや助け合いがあり、困ったときに支え合える社会。	そのような社会を実現するために、私ができることは、日常生活の中で人とのつながりを大切にすることである。あいさつや感謝を忘れず、困っている人がいれば声をかけることを心がけたい。また、地域活動やボランティアに参加し、助け合いの大切さを学ぶことも重要である。このような行動を続けることで、支え合える社会の実現に貢献できると考える。
令和7年度	政治に対して意見を言える社会	選挙に行く
令和7年度	みんなの意見、希望が出来るだけ叶うような社会、世界。	いま社会でどんなことが起こっているのかを知る、政治に積極的に参加する、など。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	争いがなく、人の温かみを感じられる社会	困っている人がいたら助ける、優しく接する。
令和7年度	個人や企業全体が環境へのアクションを日常的に起こすことで、持続可能となる社会	SDGsに関心のある企業に対して投資を行う
令和7年度	戦争のない一人一人が環境への関心を持ちながらたくさんの人と協力する世界	無駄に資源を使わない ごみの分別する
令和7年度	差別や偏見のない世界	自分が差別の偏見のない考え方を心がける
令和7年度	人々が安心して暮らせる社会・世界	選挙に行く
令和7年度	フードロスの無い社会	お店などで料理を注文するときは食べられる量だけ頼むようにする。 自分は今実家暮らしだが、一人暮らしをはじめたら食料を買うときも、消費しきれ的分だけ購入することを心がけたい。
令和7年度	機会、教育が平等に供給され、環境を守りながらこの先も持続していく世界。	環境を守るための節電、節水や、フェアトレード商品の購入による労働者搾取構造の改善。
令和7年度	私が住みたい社会は、強くあることや成果を出すことだけで、人の価値が決まらない世界です。誰かより優れていなくても、誰かの役に立てていないと感じる日があっても、「ここにいていい」と思える場所です。言葉にできない不安や、理由のわからないしんどさを抱えたままでも、無理に説明しなくていい社会で、弱さや迷いが、欠陥として切り捨てられるのではなく、人間らしさとして受け止められる世界に住みたいです。誰かにとっての「正解」ではなく、自分なりの速度で生きることが許される世界で、生きづらさを感じている人が、ひとりで抱え込まなくていい場所。私は、そんな世界で生きたいし、そんな社会をつくる側でありたいと思っています。	誰かのしんどさや弱さを、簡単な言葉や前向きな正解で片づけない。すぐに答えを出そうとせず、その人の感情がそこにあることを、そのまま受け取る姿勢を持ち続けることです。ふだんの暮らしの中では、頑張っていない人や、声を上げられない人がいる空気に気づくこと。沈黙や違和感を見過ごさず、必要以上に踏み込まなくても、「一人じゃない」と伝わる関わり方を選びたいと思っています。将来は、生きづらさや孤独が“個人の弱さ”として処理されてしまう社会の構造そのものに、問いを投げかけたい。評価や成果では拾いきれない感情や痛みが、置き去りにされない仕組みを、言葉や表現、あるいは仕組みづくりを通して形にしていきたいです。世界を一気に変えることはできなくても、「ここにいていい」と思える瞬間を、一人分ずつ増やしていくことならできる。私はその積み重ねを、自分の生き方と仕事で続けていきたいと思っています。
令和7年度	私が住みたい社会は、将来への不安が過度に大きくならず、自分の生活設計を現実的に描ける社会です。経済的に成功している一部の人が豊かになるのではなく、多くの人が「この地域でこの先も暮らしていける」と感じられることが重要だと考えます。	私ができることは、社会の仕組みを無関心のまま受け入れない姿勢を持つことです。例えば、行政の施策や金融機関の取り組みについて、「なぜその制度があるのか」「誰にとってメリットがあるのか」を考えることは、地域金融論の学びを日常につなげる行動だといえます。
令和7年度	極度の貧困者がいない社会	募金活動などを行う
令和7年度	必要なところに必要な食糧がまんべんなく行き届いている社会	フードロスに対して強い責任感を持っている飲食店やお店を積極的に選んで利用する。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	私が住みたい社会は、環境・経済・人権がバランスよく調和した持続可能な社会です。再生可能エネルギーが普及し、資源が無駄なく循環することで、将来世代に負担を残さない仕組みが整っている世界であってほしいです。また、貧困や教育格差が是正され、国や性別に関係なく一人ひとりが自分の可能性に挑戦できる社会であるべきだと思います。企業や政府、市民がSDGsを共通目標として協力し合い、成長と公平性を両立させる世界に住みたいと考えます。	私のような社会を実現するためにできることは、日常生活と将来の行動の両面から考えられます。まず日常では、マイボトルの使用や食品ロスの削減、節電など、小さくても継続的な環境配慮行動を心がけるようにします。また、フェアトレード商品を選ぶなど、消費を通じて社会課題の解決に貢献したいと思います。さらに、SDGsや社会問題について学び、周囲と共有することで意識を広げることも重要だと考えます。
令和7年度	経済成長を優先せずに、自然を大切にす社会	植物を植えたり、身近にある小さな自然も大切にすること。
令和7年度	技術が影となり、人間がより人間らしく、情熱を持って生きることを支えている社会	人がやりたいことを人がして、人がやりたくないことを技術に頼ること。
令和7年度	資源が豊富にあり、犯罪、戦争がなく、平和な世界	節水節電を心がける
令和7年度	私は今が良ければそれで良いという考えではなく、その責任を担うことになる未来のことまで皆が考えて動く社会に住みたいです。	高齢化が進んでいますが、選挙で投票に行き若者の投票率を上げることで若者向けの政策を増やします。そうすれば自然と将来に向けた政策も増えると思います。
令和7年度	都会だけではなく、小さな地域の人々も暮らしやすく格差の少ない社会	地域活性のために、地元のイベントやボランティアに参加し、人とのつながりを大切にする。また、地域で行われている取り組みや課題を知り、それを伝えたりすることで関心を持つ人を増やす。地域にクラウドファンディングなどの提案をする。
令和7年度	支援が必要とされている人々に支援が行き届く社会。また、頑張っている人が報われる、正当な恩恵を受けられる社会。安心して老後まで生活できる仕組み、設備が整っている社会。	自分は恵まれた環境で育ってきたので、そうでない人達を間接的であっても助けられる人になる。
令和7年度	子育て世代が不自由なく暮らすことのできる世界。	現在サークル活動の一環として子ども食堂に参加しているので、この活動が少しでも子育て世代にとって手助けになればいいと思う。また、子育てにやさしい社会作りを応援したい。
令和7年度	SDGsのような目標がなくとも意識できる社会	飲食のバイトでの食品ロスをなくすために、適切な入客予測で準備量を最低限に抑える。
令和7年度	人間だけでなく動物、植物も活発な活動ができる世界。	環境を破壊しないようにエコバッグを持参したり、自家用車ではなく公共交通機関を使用したりすること。
令和7年度	全ての人々や生物が快適な生活を送れる世界 きれいな水や空気を利用できる世界	ごみ拾い
令和7年度	身近な人が幸せな世界	周りの人の話を聞くこと、感謝や好意を言葉にすること、小さな気遣いを行動にすることが出来ます。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	全ての人が生きやすいと感じる世界。	お年寄りや体の不自由な人に席を譲る。相手の立場に立って行動をする。
令和7年度	思いやりが溢れる世界	誰に対しても思いやりを持って接する
令和7年度	誰もがやりたいことに挑戦できる世界。	私が世界を大きく変えたりすることは考えにくいと思うから、まずは小さなことから始めていきたい。例えば、やりたいことに挑戦している人を否定しないこと、自分自身がなんにでも挑戦してみることなどを積極的にやってみようと思う。
令和7年度	戦争や紛争がない平和な世界	治安が良く、戦争がない日本に住んでいるため平和について普段意識しにくい。そのため、ニュースやSNSで紛争地域で今何が起きていて、そこで暮らす人が何を感じているか学びたい。大学生である私は戦争をなくすことに貢献はできないが、何かしらの支援はできると思うので安全に暮らせるような環境を考えたい。
令和7年度	欲しいものがなんでも手に入る世界	自分は物流関係の仕事に就く予定なので、グローバルネットワークを活かして世界のどこにいても商品が安全に届くような輸送をする。
令和7年度	平和な世界	心に余裕を持つ、人にやさしく接する
令和7年度	みんながみんなを応援しあえる明るくて前向きな社会	ポジティブなことを意識的にいう、たくさん笑う 将来できることとしては、日本以外のいろんな地域のいろんな人に会って、現状を知り、知見を増やす
令和7年度	僕は世界中の人々が環境に左右されず、質の高い教育を平等に受けられる社会に住みたいと考えます。	まずは身近なことから始めることが大切だと考えるので地域の教育支援活動や、地元の小学校での教育支援イベントの発案、開催など自分なりに考えて実施してみることだと考えます。
令和7年度	誰もが安心して生活でき、挑戦したい人が年齢や地域に関係なく一歩踏み出せる社会	周囲の人の話をよく聞き、学んだ知識を活かして人や地域をつなぎ、小さな行動から協力や支援を広げていくこと
令和7年度	異常気象等が少なく、安定した社会。	異常気象等は暮らしの中での二酸化炭素排出による、地球温暖化によって起こっている。そのため、まずは身近に、使い捨てのものではなく繰り返し使えるものを使用する。また移動手段として公共交通機関を使用したりして、車のガス排出を減らしたりする。そしてまずは、そういった現状があること知るといことがいちばん大切だと思う。
令和7年度	住む国や環境が違う人とも、対等にお互い尊重しあって、気軽に話ができる社会	言語学習、異文化理解を深める
令和7年度	みんなが笑って暮らせる社会	自分たちだけが楽しいからいいや、という考えを捨て、みんなが自分の行動を見てどのように感じるかを考えて生活する。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	世代や地域、あるいは国境すらも超えて、それぞれの人が互いの言語や文化を尊重し、その地域が発展していけるように協力し合える世界に住みたいと感じます。	アルバイトで異なる世代や地域の方と交流する機会があるため、マクロな視点で世代間や文化圏による認識の差を理解するとともに、ミクロな視点で一人一人のお客様がどのようなことを考え、どのような点を大事だと思っているのかについて理解し、一人一人にあったサービスを提供するとともに、お客様に対しても日本という文化圏や私自身についても同様に理解してもらえよう、対話等を通じて相互理解に努めたいと思います。
令和7年度	どこに行っても治安がいい社会	街をきれいに使う
令和7年度	性別や年齢、障がいの有無に関係なく全ての人々が安心して生活できる社会。	将来物作りの現場を支える仕事に就きたいと思っているのでバリアフリーを考慮した製品を提案できたらと思った。
令和7年度	現在自分たちが享受している様々な豊かさをこれから先も自分たちや将来の世代が受け取ることのできる世界	環境へ負荷を減らすためにゴミの分別をしたり、車ではなく電車を利用すること
令和7年度	教育格差が大きい世界	まずは自分の生活の範囲内では、自分自身が教育を受けること。将来自分の子に適切な教育を受けさせることが大事だと考えています。
令和7年度	何不自由なく移動できる社会	日常の移動において公共交通機関を利用する。それにより、一人一人が公共交通機関を利用することにより、公共交通機関が網羅しきれていない部分が可視化され、課題が発見されることにより、普及率が増加すると考えられる。
令和7年度	病気や障がいがある人も差別されずに理解され、幸せに生きられる世界	まだまだあまり知られていない病気や障がいを世に広めていく活動をする、周りにいる人たちを理解し尊重する
令和7年度	誰もが住みやすいと感じる争いのない平和な世界	目の前で困っている人を助けたり、自分にできる小さいことを出来るだけしていくこと。
令和7年度	私が住みたい社会、世界は暇がない社会です。	常に目標を持って向上心を高めて周りの人に信頼されるよう小さなことから頑張る
令和7年度	同調圧力で個々の意見が無視されがちなこの世界を、個々の意見がしっかり尊重されるような社会にしていきたい。	個別塾でバイトをしているが生徒に勉強のみでなく、お互いの意志を尊重しあう重要性や学校では教えてくれない道徳を特に小学生を中心に教えることが私としてできる最低限の事だと思う。
令和7年度	男女平等が当たり前であり、自分の意見を言っても否定されないような社会。また、全ての人々が教育を受けられるような社会。	人の意見を否定せず受け入れ、そして自分の意見も言うこと。
令和7年度	持続可能なエネルギーを使った循環型社会	フードロスの削減、公共交通機関の利用

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	私が住みたいと思う社会は、立場や背景の違いによって生きづらさが生まれない社会。年齢や性別、国籍、障がいの有無などによって不利になることが少なく、誰もが安心して自分らしく生活できる世界が理想だと考える。また、経済的な豊かさだけでなく、人とのつながりや思いやりが大切にされ、困ったときには自然に助け合えるような社会であってほしい。	・周囲の人の考え方や価値観を尊重し、相手の立場に立って行動する ・多様な価値観や文化について学び、理解を深めることで生きづらさを減らすことにつなげる
令和7年度	差別のない、全員に教育の機会が与えられた社会	自分が差別に加担しないことはもちろん、差別に対して批判的な声をあげていくこと。教育の有用性を証明すること。
令和7年度	子供が生活しやすい社会	子供が暮らしやすいような治安のよい社会を目指す。例えば、道に落ちているごみの量を拾うなど。
令和7年度	これ以上環境が壊れない世界。	リサイクルや、自然の負担になるようなことは避けるなど、個人でできることは徹底していくこと。
令和7年度	平和で希望があり人々が平等に生きることができる世界	差別をしている人がいれば加担せず、ちゃんと注意する
令和7年度	誰もが社会課題に対して「自分は無関係だ」とは思わない社会に住みたいと思います。環境問題や格差の問題に対して、自分とは関係のない話だなど考えるのではなく、自分の日常生活の延長線上にあるものだと実感できる社会が理想です。誰か一部の人が我慢するのではなく、そういった問題にみんなで立ち向かうことが大事だと思います。	日々の行動と社会課題のつながりを意識することです。例えば、安さや便利さだけで選ぶのではなく、その背景にある労働環境や環境負荷に目を向けることが大事だと思います。
令和7年度	大多数の人が幸せに暮らせる世界	日々思いやりを持って行動する
令和7年度	敷かれたレールの上を歩むだけではなく、個人のニーズに合わせて自由な選択が可能であり、それを実現することが可能な社会。	相手の意見を尊重し、否定しないこと。極端に危険な場合は、あくまで助言として意見を言う必要もある。
令和7年度	海がきれいな社会	マイボトルや、マイ箸を積極的に利用する
令和7年度	貧困のない世界	フェアトレード商品を選ぶ
令和7年度	人間各個人が、周りの人・自分のことを大切にしその上で、それぞれがしたいことに取り組むことができる環境の整った社会。自分と異なる人に共感ができなくても、その人のことを最低限理解ができるという考えをする人が多くいる社会。	まず自らが人のことを理解する努力を行う。閑空の飲食店で勤務しているためお客さんの中で多い国籍の方の言語を少しでも習得することができれば、意思疎通を図ることができるだろうと考える。
令和7年度	自然と共生し、美しい景観を保てる社会	マイバッグやマイボトルを使用することでプラスチックごみを減らし、環境への負担を軽減させることができる。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	人の優しさが無駄にならない社会・世界 人と人が優しさで繋がって温かい社会になって欲しい	
令和7年度	貧しい人が限りなく少ない社会	投票、ボランティアの参加
令和7年度	優しさに溢れた世界	身近な人に敬意を持って接すること
令和7年度	生活圏内(車で10分程度)に食・教育・医療の施設がある社会。	貧困をなくす(1の目標)人や国の不平等をなくす(10の目標)をするために、フェアトレード商品を買ったり、着られなくなった服などを支援団体に寄付をする
令和7年度	助け合いがある社会	普段から困っている人がいたら声を掛ける
令和7年度	選択肢の多い社会。住む場所や労働など何か一つうまくいなくなってもほかの多くの選択肢が存在している社会。	他人の他とは違う選択を理解できるように自分自身の考え方や価値観を養うこと。
令和7年度	全員が平等に最低限度の生活を保証されている社会。	寄付やボランティアを通じて少しでも社会に貢献すること。
令和7年度	社会的な要因で不幸になる人がいない世界	優しい心を持つ
令和7年度	誰もが自分のことも他人のことも認める世界 各人が自己肯定感を持って自立し、また他人の性別・国籍・信仰等を互いに認め、それぞれの違いに何の感情も抱かないような社会・世界に住みたいです。	自分自身を振り返って、良いところはもちろん悪いところや弱さも受け入れることです。そして、自分と価値観や生活環境が異なる人に対して、先入観や偏見で判断することなく、逆に気を遣いすぎることなく、「ふーん、そんな人もいるよね」くらいに受け取ります。ただし、世界にはその程度じゃ済まないような差別や迫害もあるし、簡単には解決できない歴史的背景を持つ場合もあるので、なぜそこに差別的な思想が生まれたのかを構造的に理解する努力をしたいと思います。
令和7年度	私が住みたい社会は、経済成長だけでなく環境や人の暮らしにも配慮され、将来世代まで安心して生活できる社会です。地域の特性を活かしながら、貧困や格差を減らし、持続可能な形で地域経済が循環していく世界が理想だと考えます。	普段の暮らしの中では、環境への負担が少ない商品を選んだり、できるだけ地元のお店や地域に根ざしたサービスを利用したりすることで、持続可能な社会づくりに関わることができると思います。また、ニュースや授業を通して、SDGsや地域が抱える課題に関心を持ち続け、自分なりに考える姿勢を大切にしたいと思います。将来は、地域金融論の知識を活かし、経済的な利益だけでなく、環境や人々の暮らしへの影響も考慮できる立場で社会に関わりたいと考えています。一人ひとりの小さな行動や判断が社会のあり方につながることを意識し、持続可能な社会の実現に貢献していきたいです。
令和7年度	すべての人が行いたい余暇活動を行える世界。	将来、公務員としてバリアフリー施設の推進や、アクセシビリティ機能の活用を促進するようなことを行いたい。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	私が住みたい社会は、「安心して自分らしく生きられる世界」である。そこでは、多様な価値観や生き方が尊重され、人が周囲の目を過度に気にすることなく、自分の目標や幸福を追求できる。また、相互に支え合う文化があり、困っている人が孤立せず、心理的にも経済的にもセーフティネットが存在する。さらに、地球環境に負荷を与えず、次の世代も安心して暮らせる持続可能な社会が望ましい。テクノロジーはあくまで人を幸せにするために使われ、格差や差別は縮小し、誰もが「生きてよかった」と思える社会である。	そのような社会を実現するために、私ができることは身近な行動から始めることである。まず、日常で他者の価値観や背景を理解しようとする姿勢を持ち、差別的な発言や排他的な態度をとらないこと。また、困っている人に声をかけたり、支援制度に関する情報を共有したりすることで、小さなセーフティネットを作ることできる。環境面では、リサイクル、節電、節水を意識するほか、無駄な消費を減らすなど、生活そのものを環境に配慮した形に近づけていく。将来的には、自分の進む仕事や活動を通じて、社会制度や教育、福祉、テクノロジーなどの面から社会をより良くする取り組みに関わることが目標である。こうした積み重ねが、理想に近づく一歩になると考える。
令和7年度	人間と自然がともに進化できる世界	将来ある程度お金に余裕ができれば、自然保護や生命の進化に関する研究や開発に投資を積極的に行っていきたいと思う。
令和7年度	誰もが自分らしく生きられる世界	自分らしく生きられるとは選択肢が豊富にあり、その中から自分に適したものを選び出せるということであると考え。なので、地方自治体などで進学や就職の整備を拡充されることが望ましいので、選挙を通してそれらを実現させてくれる候補者に票を投じることで実現できると考える。
令和7年度	人々が気持ちよく過ごせる社会	普段生活するところの清潔を保つ。
令和7年度	自然をしっかり保存し、他の動物との共生や地球環境の改善が叶う世界。	自分だけでも排気ガスの排出を抑えたり、電気やガスの使いすぎに注意すること。またそれを周りの人にも勧めて行くこと
令和7年度	私が住みたい社会・世界は、誰もが自分の立場や違いによって排除されることなく、「安心して挑戦できる」社会です。年齢、性別、障がいの有無、国籍、経済状況などによって可能性が狭められるのではなく、それぞれの個性や強みが尊重され、活かされる世界に魅力を感じます。また、経済的な豊かさだけでなく、環境や地域とのつながりが大切にされ、次の世代に負担を押しつけない持続可能な社会であることも重要だと考えます。一人一人が「自分の行動が社会や未来につながっている」と実感できる社会に住みたいです。	そのような社会を実現するために、まずは日常生活の中で、自分とは異なる価値観や立場を持つ人の考えに耳を傾ける姿勢を大切にしたいと考えています。身近な場面での思いやりや対話の積み重ねが、誰もが安心して過ごせる社会の基盤になると感じています。また、環境に配慮した行動として、無駄な消費を控えたり、長く使えるものを選んだりするなど、小さな選択を意識していきたいです。将来は、仕事や地域活動を通じて社会課題に関わり、自分の行動が社会をより良くする一助となるよう主体的に行動していきたいと考えています。
令和7年度	人の温かさで満たされた世界	優しさをもって人と関わること。相手に共感をすること。
令和7年度	生まれた性別や国籍など、努力で変えられない性質によって何かを諦めずに済む世界	まずは自分が差別をしない。偏見や固定観念に敏感になる。将来は学びや仕事を通じて、他者の選択肢を広げる側に立てるよう行動する。
令和7年度	私が住みたい社会は、都市と地方の格差が過度に広がらず、どの地域でも働く・挑戦する機会がある社会です。地域金融が地域の中小企業や個人を支え、地域経済が持続的に回る世界が望ましいと考えます。	地域金融論で学んだ知識を生かし、将来は金融や行政、企業の立場から、短期的利益だけでなく地域全体の発展を意識した行動や意思決定を行いたいと考えます。
令和7年度	空気が綺麗な社会	徒歩移動を活用する。
令和7年度	どの国もどの人も綺麗な環境で綺麗な食べ物を食べれる生活	ゴミの分別に気をつけて環境汚染に加担しない

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	子育てしやすい社会	子育て推進を公約にしている政治家に投票する。
令和7年度	住みやすい社会	優しくする
令和7年度	マジョリティの人々もマイノリティの人々も、優遇や差別されることなく、公平に扱われる社会。	私個人に世界を変える力はないという前提の下で、せめて自分やその周囲の人ぐらの意識(固定概念)を変えること。あるいは、意識をしすぎることは腫物扱いになってもおかしくないの、意識しないこと。
令和7年度	現在の便利さを追求するあまり将来の資源を使い果たしてしまうのではなく、何十年後の子供たちも同じように自然や文化に触れることができるような持続可能な社会。	過度な消費を抑えて、ごみを減らしたりエネルギーの節約をしたり、日常生活の中で環境への負荷を減らしていく。また将来働くようになったら、短期的な利益だけでなく長期的な価値を評価できるようにする。
令和7年度	誰もが安心して暮らし続けることができ、地域や立場の違いによって取り残される人が生まれない社会	将来においては、人や地域に寄り添う仕事を通じて社会課題の解決に関わりたいと考えています。制度や仕組みを一方向的に提供するのではなく、現場の声に耳を傾け、関係者と協力しながら課題解決を進めることで、持続可能な社会の実現に貢献したいです。一人ではできることは限られていても、身近な行動と将来の仕事の両面からSDGsの達成に向けて取り組んでいきたいと考えています。
令和7年度	私が住みたい社会は、日本に住む人がこれまで以上に快適に過ごせる社会です。	日本に住む人が快適に過ごせる社会を実現するためには、自分の意見を発信できるための機会をもっと増やすことが必要であると思います。
令和7年度	誰もが自分の『居場所』と『出番』がある世界です。年齢や国籍、障がいの有無などに関わらず、一人ひとりの個性が尊重され、困ったときには自然に助け合えるような、物理的な豊かさだけでなく、心のゆとりと優しさが循環する社会に住みたいです。	世の中で起きている問題に関心にならず、自分に何ができるかを考え続ける習慣を持ちます。SNSや日々の会話を通じてポジティブな情報や新しいアイデアを発信したり、ボランティアや地域のイベントに参加したりすることで、小さな変化を自分から起こしていきたいです。
令和7年度	私はマクドナルドでアルバイトをしているのですが、エコのために飲みにくい蓋になってしまってよくお客様に怒られることが多いので、エコイコール不便ではなく、自然に優しい選択の方が安くて楽でサステナブルが特別な行動でなく、日常に溶け込んでいる世界	マイボトルやマイタンブラーを持ち歩くことでペットボトルなどのゴミを出さないようにすることや商品をなんとなくではなく長く使えるものを選ぶようにする。でも無理にエコのために頑張るのではなくてレジ袋とかは必要な時には買うなどしてもいい。
令和7年度	SNSなどが流行る中でもしっかりと繋がりのある世界	将来的に現実で交流するイベントなどを開催する 人とのかかわりを軽視しない
令和7年度	自分の居場所が感じられる社会。自分は他者や周りの環境など第三者の存在からの認知があつてこそ自覚できるものだと思います。実際に、知り合いに合わずにほとんど他人と会話しないような日が数日続いただけでも、心が暗くなってしまった気がしたので、誰もが、つながりたいときにつながれるような、コミュニティがある社会に住みたいと感じます。	今はどこにいるときもスマートフォンを見たり音楽を聴いたり、みんな同じ空間にいるのに自分の世界にこもってしまうことが多くて、人とのつながりを感じられなくなったり。地域で周りの人とのかかわりが減ってしまうこともあると思うので、まずはたまにはスマホから少し顔を上げて世界を見てみたいと思いました。
令和7年度	私が住みたい社会は、住んでいる場所によって大きな不利が生まれない社会です。地方の田舎出身の自分としては、都市だけでなく地方でも、仕事や生活に必要なサービスが守られ、安心して暮らし続けられることが大切だと考えています。そのためには、地域の企業や商店が続いていけるように、お金が地域の中で回る仕組みがある社会が望ましいのではないかと思います。	色んな授業を通して、地域と金融のつながりについて理解を深めたいです。普段の生活では、地元のお店を利用するなど、できることから少しでも地域を支えていきたいと思っています。
令和7年度	人々が気持ち良く日々を過ごせる世界	見つけたごみを拾うことや、環境保護を大切にしている企業を支援すること

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	老後のお金の心配をしなくてもいい社会	積立NISA 資産運用 株式投資
令和7年度	タバコを吸う人が皆、煙や臭いが苦手な人や子供、妊婦の方等に配慮することで受動喫煙や、タバコに伴う体調不良を防ぐ世界	誰にとっても快適で安心な環境にするため、職場や地域の自治体等に関わるようになった際にルールを明確に決める。ルールを明確に守る喫煙者を否定せず、お互いを尊重するようにする。
令和7年度	安心して安全な社会	地域のボランティアに参加する。
令和7年度	現在だけでなく未来も見据えられるような持続可能な世界。	環境や資源を守るための取り組み
令和7年度	日本のような治安のいい国	正直に答えますと、治安の悪い国において自分一人の力で治安を改善できるとは考えておりません。ですが、互いに尊重し合う文化を構築していくべきだと考えています
令和7年度	私が住みたい世の中は、「挑戦しても失敗しても、人生がやり直せる世の中」です。今の社会では、一度の失敗やレールから外れた選択が、その後の評価や機会に大きく影響してしまう場面が多いと感じます。その結果、失敗を恐れて無難な選択を重ね、本当にやりたいことに挑戦できない人も少なくないと思います。	そのような社会を実現するために、まず私ができることは、失敗を過度に否定しない姿勢を自分自身が持つことだと考えています。挑戦した結果うまくいかなかった経験を「無駄だった」と切り捨てるのではなく、次に生かせる学びとして整理し、周囲にも共有することで、失敗に対する心理的なハードルを下げるができると思います。
令和7年度	愛に溢れた社会。	身近な人を大切にする。性別や国籍、障がいの有無で人に制限をかけない。
令和7年度	平等で偏見がない世界	今ある不平等や偏見は歴史の中で作られたものが多いので、作られた背景を知り、人々の間に根付くようなものであってはいけないと知る。
令和7年度	年齢や性別、国籍などの偏見や差別のない、誰にとっても暮らしやすい世界	日常である情報を自分で取捨選択しさまざまな立場から物事を考える。さまざまな人と積極的に関わる
令和7年度	現代の日本ではSNSが流行して誰でも匿名で意見を述べられるようになってきたが、意見という仮面を被った、誹謗中傷が日本に溢れすぎていると思う。それで自分を死に追い込む人や自分の個人情報が特定され、安心して毎日を暮らせない人、根拠もない冤罪、合法される盗撮が当たり前になってきているように思う。そのため、少しの日常での行動がネットに晒され、誹謗中傷を受けるかもしれないという恐怖に怯える社会が今来つつあると思う。それに怯えない社会に住みたいと感じる。	ネット上でコメントをする際、誹謗中傷と思われるコメントの規制を強制するものがあればいいと思う。例えば、ゲーム等で名前を下品なものにしようとする時、この名前は使用できません等の文が現れ、本当にそのような名前を使用できないように、悪質なコメントをしようとする時に、規制するシステムを作った方がいいと思う。
令和7年度	老後、楽に過ごせる社会	就活を頑張る 年金に詳しくなる

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	治安が良く、空気も澄んでいる日本	様々なエネルギーにかかわるものを節約し、水の節約など自分でできるような節約に対して積極的に取り組む。
令和7年度	私が考える住みたい世界は環境面では日本のように水が綺麗に通っていて、なおかつ空気も汚くないような世界です。また社会的には女性が活躍できるような場面が男性と同じくらい多いような世界が良いと考えています。	環境を汚染しないように今できることとしてはゴミの分別やポイ捨てや老廃物などを海に捨てないことなどの小さなことでも環境配慮に心がけることです。また、仮に将来に自分が上の立場になるならば、より女性を登用できるような仕組みを形だけでなく、実践したいです。
令和7年度	人の優しさが無駄にならない社会・世界 人と人が優しさで繋がって温かい社会になって欲しい	私はまずは自分の周りの大切な人に対して見返りを求めない優しさを大切にする。社会で出会う他人にも優しさや思いやりを持つ。それが連鎖していけば、より良い世界になると思う。
令和7年度	世界中の人々が安全な水を手に入れられる社会	食器洗いで無駄な水を減らす。少額の寄付やクラウドファンディング、プラスチックのゴミの削減を行う。
令和7年度	誰もが平和に暮らせる世界	寄付をいっぱいする
令和7年度	将来の世代が不自由なく暮らせるよう、資源が循環し、自然環境が守られている持続可能な社会です。大量消費・大量廃棄ではなく、今あるものを大切にする意識が根付いた世界を望みます。	今でもしていることではありますが、日々の生活でプラスチックごみを減らすために、外出時は水筒を持ち歩き、買い物では必ずエコバッグを使用します。また、ゴミの分別を徹底し、リサイクル可能な資源を確実に循環させることから始めます。
令和7年度	私が住みたい社会は、誰もが安心して挑戦でき、努力が正しく評価される社会である。年齢や性別、環境に関係なく機会が与えられ、困ったときには支え合える仕組みが整っていることが大切だと思う。また、環境に配慮しながら持続的に発展し、多様な価値観を尊重し合える世界で暮らしたい。	そのような社会を実現するために、まず身近なところから行動することが大切だと考える。例えば、人の意見を尊重して対話を大切にすることや、地域の活動やボランティアに参加して支え合いの輪を広げることができる。また、将来は自分の仕事を通じて社会課題の解決に関わり、誰もが挑戦しやすい環境づくりに貢献したい。
令和7年度	全ての子供が平等に教育を受けることができる社会。	塾講師のアルバイトをする中で、一部の人が質の高い教育を受けられていないと感じている。なので、自分としてはアルバイトである塾講師が広まるように、シフトに入り続け、塾産業を盛り上げることができると思う。
令和7年度	多くの人々が自身が住む地域に対して誇りを持って住み続けたいと思う社会。	多くの人が地域に誇りを持ち住み続けたいと思う社会のために、私は地域の魅力が日常の中で自然と実感できる機会を増やしたい。地域に根付く歴史や文化、人とのつながりは、存在していても伝わらなければ誇りにはつながらない。そこで、将来は地域の拠点を生かしたイベントの開催や、人が集い交流できる仕組みづくりを通じて、地域の価値を知り、好きになるきっかけを生み出したい。さらに、日々多くの人々が利用する移動や生活の動線に地域の魅力が組み込まれることで、誇りはより身近なものになると考えている。地域の中にある魅力を引き出し、共有され続ける状態をつくるのが、自分にできる役割だと考えている。
令和7年度	環境への負荷を抑えながら、人と人のつながりを大切にし、誰もが役割を持って安心して暮らせる持続可能な社会に住みたい。日々の消費や働き方が社会課題の解決につながり、将来世代にも良い影響を与える世界が理想である。	その社会を実現するため、飲食店のアルバイトとして食品ロス削減を意識した声かけや在庫管理を行い、資源を無駄にしない行動を心がける。また、丁寧な接客を通じて人を尊重する姿勢を示し、持続可能な社会づくりに貢献したい。
令和7年度	犯罪のない安心して生きられる世界	犯罪を起こさなくていいように平等な世の中にするために選挙などに積極的に参加する。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	私が住みたい社会・世界は、誰もが安心して挑戦でき、自分らしく生きられる社会です。年齢や性別など、個々の事情に左右されず、挑戦したいと思った時に、誰もが踏み出せる社会になってほしいです。	例えば、使い捨てを減らす、食品ロスを出さない、地元で生産されたものを選ぶなど、身近な選択を大切にします。また、違いを否定せず相手の立場に耳を傾けることで、誰もが安心して過ごせる人間関係づくりに貢献したいです。また、自分自身も成長を続けるために、常に学ぶ姿勢で取り組みたいです。
令和7年度	民意が反映され、人々が平和に暮らせる世界	国内外の情勢に関心を持ち、選挙など意思表示の機会を無駄にしない。
令和7年度	エコでクリーンな社会	プラスチック製の製品を使わないようにしたり、再利用できるものはできるだけ再利用するように心がけたりすること
令和7年度	自然豊かで多様性が失われていない世界。	環境問題に貢献すること。
令和7年度	人為的な排気ガスなどが比較的少なく自然豊かな社会	買い物時にビニール袋を毎回購入するのではなくマイバックを持参しプラスチック利用を減少させ無駄にゴミを排出しないこと
令和7年度	自分の努力や能力によって認められ評価される世界	サークルでの幹部などを決める時に人気などだけではなく実力や誠実さなどをみて判断する
令和7年度	誰もが自分のやりたい挑戦をできる社会	将来世代に負担を残さないように環境に配慮した行動を心がけること
令和7年度	昔のような近くに住む人々と関わりが強く、仲がいいような社会に住みたいです。	自治体などがしっかり存在する地区に住み、地域のイベントなどに積極的に参加することなど
令和7年度	私が住みたい社会・世界は、国や言語の枠組みを超えて様々な人々が交流できるような社会です。私自身、国内外の旅行がとても好きで、旅先の人々との交流は大きな楽しみの一つとなっています。食事や言葉遣いなどのさまざまな文化を互いに受け入れ合えるような社会に私は生きてみたいです。	このような社会を実現するために、私は言語を学び、様々な土地に自らの足で赴きます。仮に海外の人々と交流するとすると、現地の人々からすると私は日本人として大別されます。その日本人の代表が排他的な姿勢をとることは、私の理想とする社会の実現には決してつながらないと考えます。そのために、私は異なる物事を学び、実際に経験することで実現を目指します。
令和7年度	次世代が暮らしやすい世界を目指して、皆が協力し行動する世界	自分たちが良ければいいという考えではなく、次世代がより暮らしやすい世界を目指す考えのもとで、公共交通機関を積極的に使ったり、リサイクルなどでごみを減らしたりといった環境を守るための行動をとる。
令和7年度	生まれ育った田舎のようなところでも十分な仕事があり、個人の能力がちゃんと評価されるような社会	たくさんの知識や技術をつけて地域に貢献する

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	私が住みたい社会は、住んでいる地域や生まれた環境によって、受けられるサービスや将来の選択肢に大きな差が出ない社会です。都市部では交通や医療、教育が充実していますが、地方では人口減少や高齢化により、必要なサービスが維持できなくなっている地域もあるため、改善された社会に住みたいです。	①であげた社会を実現するためには、都市部と地方のどちらでも、最低限必要な医療、教育、交通などのサービスが安定して提供されることが重要だと思います。人口が少ない地域でも医療や教育を維持できるよう、オンライン診療や遠隔授業などの仕組みを活用することが有効だと思います。また、自治体同士が連携し、単独では難しいサービスを共同で運営することで、費用を抑えながら質の高いサービスを提供することも可能になると思います。さらに、限られた財源を効果的に使うために、地域の実情に合った優先順位をつけてお金を使うことも大切だと思います。このように工夫を重ねることで、どこに住んでいても安心して暮らすことができ、将来について前向きに考えられる社会が実現すると思います。
令和7年度	互いに助け合いができる温かみのある社会。 まちと自然が共生し、清潔感のある社会。	困っている人を見かけたときに迷わず助けられるように、自分と異なる立場の人のことを理解する。マイバッグを持ち歩いたり、 unnecessary消費を抑えたり、自然環境に配慮して生活する。
令和7年度	生きづらい人がいない世界にしたいです。社会が一人一人の柔軟な生き方を受け入れ、誰もが生きやすい世界に私は住みたいです。	自分に関わっている人に対して個性を受け入れる姿勢をとりたいです。 例えば部活やバイトの同期や同僚の考え方や性格などを、「自分と違う人」として距離を取るのではなく、「こういう人もいる」と受け入れていきたいです。
令和7年度	地球環境やお金に不安を抱くことなく誰もが安心感をもって過ごせる社会	私は銀行に就職したいと考えている。脱炭素などの地球環境の保全に取り組む企業に対する融資や、目まぐるしく変化する世の中に不安を抱える人々に対するソリューションの提案を通じてそのような社会の実現に貢献したい。
令和7年度	生まれた家によって貧富の差があっても、相互扶助の精神と確立された制度を以て誰もが努力次第で公平な人生を歩めるような社会。	税や社会保障を「損得」だけで判断しないこと 投票に行き、教育・福祉・労働政策を重視すること デマや極端な自己責任論に流されないこと
令和7年度	誰もが整った労働環境で搾取なく働ける社会。	フェアトレードを行っている企業や、整った労働環境を作っている企業の商品を買うことを意識する。
令和7年度	街が綺麗で、犯罪が少ない世界。	街に落ちているゴミを見つけたら拾って捨てる。
令和7年度	大気や河川が汚染されおらず、みなが気持ちよく生活できる世界	クリーンアップ活動への貢献
令和7年度	健康に暮らせる社会	病院に行く
令和7年度	人種間の差別がない世界	様々な国の文化を知ること。身近なところでいうと、韓国や中国と日本との差別関係は未だ残っている。その理由は戦時の経験等もあると思うが、自国の文化が当たり前という考えが染み付いており、他文化を異端だと思っているからだと思う。個々の国の文化を知り、それぞれの国の当たり前を知ること自然と溝は浅くなり、なくなっていくと考えているため、まずは自分が相手を知ることから始めれば良いのではと考える。
令和7年度	誰もが安心して暮らせて、環境にやさしく、地域で支え合える社会に住みたいです。	その実現のために、学生として、節電やごみの分別など身近な環境配慮を实践し、ボランティアや地域活動、学校での学びを通して社会課題への理解を深めたいです。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和7年度	異なるバックグラウンドを持つ国や人々が互いの違いを理解し、尊重し合える世界。	異文化を本やインターネットで知る、学ぶこと。また、経済的に余裕があれば、実際に海外に訪れて、現地の生の声を聞くこと。
令和7年度	公平な法律によって適度に規制されていて極端な気候でなく、安心して生活できる世界。	現在、地球温暖化や海洋プラスチックによる海の汚染、大気汚染がどんどん進んでいるというニュースが見られます。これを防ぐためにエコバッグや水筒を使用してプラスチックゴミの排出量を減らす、エアコンの使用時間を管理して温室効果ガスを抑える等の心がけができると考えられます。
令和7年度	差別のない世界 違いを個性として受け入れ、互いに尊重し合える社会	多様な人と積極的に交流し、異なる文化や価値観に触れる中で、差別や偏見の現状を学ぶこと。差別をする人の中には、「その言動が差別になると知らなかった」という人がいる。まずは正しい知識を身に付け、一人でも多くの人に伝えていくことが私にできることだと考える。
令和7年度	私が理想的だと思う社会・世界は、コミュニケーションが取れる社会です。スマートフォン、SNSの補給により無線上のコミュニケーションは増えたものの、オフラインでのコミュニケーションが断絶されています。こういった日常の断絶を解消することが、今後大事になってくると思います。東京の宮下パークのように都市の真ん中に緑のある商業施設を設置することで、市民の往来を増やし直接的なコミュニケーションが増加します。	上述したような社会・世界を実現するために私は将来、都市開発の業界で努めたいと思います。そこでやりたいのは、都市の中のコミュニケーション場を増やすこと、公園や商業施設、地域イベントなどで都市のコミュニケーション断絶を砕きたいです。人が住みたいと思うような都市、週末に家で引きこもるんじゃなくて、気軽に外に出て街を歩き、友達と話すことが自然的にできるような街の雰囲気を作りたいです。
令和7年度	無駄な廃棄物がない世界	再生利用可能なものを使うように心がける
令和7年度	社会保険料や、所得税が減り、適正な年金が保障されている社会。	現役世代の負担を抑えつつ年金を保障するには、労働環境の整備で支え手を増やし、所得のみならず資産や消費からも広く財源を求める税制改革が不可欠であり、同時にNISA等の自助支援を強化し、公助と自助を両立させることが鍵となると思う。
令和7年度	誰もがやりたいことを国・お金などによって制限されることなく挑戦できる社会。	どのようなところで不平等が生じているのか、社会の仕組みや不平等が生まれる理由などを正しく理解するために、もっと政治に触れること。
令和7年度	働いた分がきちんと評価され、環境にも配慮されている社会に住みたいです。買い物や仕事の中で、無理なく環境にやさしい行動が選べる世界が理想だと思います。	アルバイト先で在庫や期限を意識して販売し、食品ロスを減らすよう心がけたいです。また、過剰包装を控えたり、マイバッグの利用を勧めたりして、身近なところから行動していきたいです。将来は、無駄の少ない仕組みをつくる仕事に関わりたいです。
令和7年度	持続可能な世界。みんなが各々の幸せの理想形を持ったり、自分の達成したい夢を持ってそれに向かって頑張れる社会	フェアトレード商品を買う、節水節電
令和7年度	老若男女問わず誰もが安心して過ごすことができ、全員がその社会を好きでいられるような世界	周囲の人とコミュニケーションを取る、地域のつながりを広げるために地域イベントを行う
令和7年度	性別や国籍、年齢や障がいの有無、経済状況などに関わらず、誰もが安心して暮らせる社会で暮らしたいです。	近年、多様性についての理解を深めようという風潮がありますが、自ら多様な性別についての知識を蓄えたりすることが必要だと思います。マジョリティ、マイノリティに関わらず、誰もが心地よく過ごせるかどうかをひとつの発言から意識していくべきだと思います。私は将来、企画など何かを作り出す職業に就ければと思っているので、世界中の誰もが同じ幸福度を感じられるものや制度作りをしたいなと思っています。
令和7年度	健康寿命が長い社会	子どもが対象の体操教室でバイトをしているので、運動に対する好意的な姿勢を幼少期から醸成できるようなスクール運営を行う。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	私はSDGsと言わずとも自然と環境のことを考え、他者を慮ることができるような社会で生きたいと思います。	そのためには今SDGsを意識して行動するのが必要だと考えていて、小さいことでもエコを意識したり、こまめに電気を消したり、手の届くところから自分らしく注意を払ってそれを自然にできるように変えていくことが、今の自分にできることだと思います。
令和6年度	すべての人が自身の生活環境や身の回りの物に対して引け目を感じず、自分の欲望や意見を気軽に発信でき、それを人種や性別関係なく受け入れ、実行できる環境が整っている社会。100年後、500年後の遠い未来においても、社会が発展し続けるような想像ができる世界。	まず現在の暮らしの中でできることとして、環境問題に対するアクションとしては、3Rを心掛けること、油などを流さないこと、発展途上国へ寄附をすることなどが挙げられる。ジェンダー不平等に対するアクションとしては、ジェンダー平等を公約に挙げていたり、政策の一部に入れている政治家に投票すること、SNSでの発信の際に、ジェンダーで差別するような発言をしないことなどが挙げられる。その他の自分がまだ理解できていないようなことをこれから調べて理解していきたい。また、将来できることとしては、環境問題解決につながる機会などを発展途上国に伝える企業とともに働くことや自身が管理職に就いた際にジェンダー関係なく評価したりすることなどが挙げられる。
令和6年度	個性が認められ、他人に肯定的な社会。	自分と人を分けて考え、受け入れる。
令和6年度	性別や障がいなどによる差別や偏見がない世界	無意識のうちに偏見を抱いてしまっていることがあるので、自分の意見にとらわれすぎず、広い視野をもって生きる。
令和6年度	仕事のない休日に、生きていることを実感し、リフレッシュできるような、緑あふれるクリーンな社会	ゴミの分別、ゴミ拾い、公共施設を充足させてもらえるように税金をしっかりと納める、こちらの要望をかなえてくれるような代表者への投票を行う
令和6年度	多様な環境で過ごす多様な人々に関わることができる世界	普段から多くの人と会話することを意識したり、積極的に人が集まるイベントに参加したりする。
令和6年度	誰もが、身分、性別、出身などにとらわれず、活躍できる世界	自分自身、性的マイノリティの人たちや、差別を受けている人が身近にいたことがないので、まずは寄り添うための知識を身につけ、その人たちの意見に耳を傾ける。女性であることにとらわれず、社会で活躍できる人間になる。
令和6年度	誰もが笑顔で暮らせる社会 人と人が暖かく繋がれる社会	自分が幸せに生きる！ 自分の哲学を持ってそれに忠実に生きる。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	私は人々のあたたかさが自然と溢れるような、誰も差別されない平和な世界に住みたいです	地域の人と交流を増やし、まずは自分から善を提供しその善を回していき、最終的には社会全体が人々の優しさで溢れるようにする
令和6年度	ジェンダーを皆が気にすることなくありのまま生きることができる環境にあること	様々な考えを持つ人の話、物語をたくさん聞いて知る
令和6年度	みんなが思いやりを持ってお互いに接することができる世界。	まず自分の周りの人を大切にする。自分が不調の時でもその気分を人にぶつけない。
令和6年度	持続可能で、デジタルが存分に活かされた暮らし良い社会。	私は電力会社で、持続可能な部分を担いながら、デジタル社会の構築にも貢献したいと考えています。
令和6年度	東京一極集中ではなく、地方分散型が実現している日本全体で持続可能な社会	就職活動にて、東京本社の会社を選ぶのではなく大阪府本社や他の地域本社の会社を選び、そこで働き生活することによって地域経済への貢献を行うこと
令和6年度	障がいがある人やLGBTQなどマイナーな立場の人々も生きやすく、持続可能な世界。	日常の中でちょっとした助け合いをしたり多数の人の意見を取り入れること
令和6年度	安心して暮らせる世界、命が危険にさらされない世界	法令を遵守する。
令和6年度	誰もが偏見等を持たず、安心して暮らせる世界。	自分はまだ政策を実施する等の大きなことはできないので、自分たち周りの人たちの意識を変えていくことが大切だと思います。例えば、梅田でバイトをしており様々な外国の方が来られるので、その時の対応を誰であってでも変えず、いつも通り親切に対応することなどができるとかなと思います。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	公平感を感じられる悪意のない平穏な世界	情報の取捨選択の徹底
令和6年度	皆が笑顔で暮らせる社会	誰かを笑顔にする製品を提供する企業に入る 身近な人を幸せにする
令和6年度	誰もが「人間らしい」生活をできる社会・世界	税金をしっかりと納める。 差別を許さない。 困っている人に手を差し伸べる。
令和6年度	地球の環境にやさしい社会、環境を守る社会に住みたい。公害が発生した時代と比べると、現代は公害への対策などは行われている。しかし、一方で地球温暖化の問題や、第一次産業に関わる人の減少が原因で山が荒れていたりする。そういった問題を解決し、地球にやさしいだけでなく、環境を守る側になるような社会を目指したい。	私は父の実家が田舎にあり、山を持っている。今は親世代が管理を行なっているが、私たちの子ども世代が管理するようになって変わらぬ整備し続けることが一番身近なできることだと考えている。
令和6年度	環境汚染が進行していない空気の綺麗な世界。(工場排煙・大気汚染の少ない社会)	エコバッグを持ち歩いたり、不要なビニールごみを出さないようにする。
令和6年度	不要なものを作り出しすぎない社会	いらぬものを買わない。まだ使えるのに捨てない。
令和6年度	小さなふとした笑顔が溢れる世界	実現するためには、動画であったような不登校の子どもやLGBTQの方も含め、友達や家族など相手のことを真剣に考えたり、親身に寄り添うことができると思う。
令和6年度	海や川にゴミがない社会	ポイ捨ては絶対にしない。小さな袋を持ち歩いて、ゴミ箱がなくてもゴミを持ち帰れるようにする。
令和6年度	未来に希望が持てる社会。(年金がもらえないかもしれない不安や、少子高齢化による課題など今後生きていくのに不安があるため)	エコバッグや分別などSDGsの目標に対して自分ができていることを積み重ねる。 未来に希望が持てる社会に近づけるように自分が勉強する。
令和6年度	緑が多い環境で、見た目や考え方で差別されない世界。	様々な価値観を理解していく。
令和6年度	それぞれの生き方(結婚する/しない、子供をもつ/もたない、正社員になる/起業する/扶養に入る、パートナーの性別など)に対して、他人から強制されない、あるいは常識という名目で無言の圧力をかけられない社会。	まずは私自身が他者に対して先入観を持たずに接すること、将来的には自身の子供や関わる下の世代に同様のことを伝えていくこと。
令和6年度	生きづらさを抱えた人がいない社会に住みたいと考える。具体的には自分の性について悩む人、家庭環境で悩む人など。	社会課題解決に積極的な企業に就職する。組織の力を活かし課題解決の一員になりたい。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	自分のやりたいことや、挑戦したいことを明示し、一般化されず、積極的に活動することができる社会。	頭ごなしに意見を否定するのではなく、そういう考えもあるのだなと考えた上で、異なる意見があれば、別の考え方という前提で意見を共有する。
令和6年度	人々が他人を思いやり、温かみのある平和な社会。	バイトで稼いだお金を自分のためだけに使うのではなく、寄付をするなど、困っている人のために使うこと。
令和6年度	世界中の人と人が仲良く、助け合いでつながる世界 国と国も争わない！	人と人のあったらいい関係性をつなぐ
令和6年度	他者に否定されず、自分の好きなことを好きなようにできる世界	多様性を他人に強要しない
令和6年度	全員が衣食住を得られる社会	食品ロスを減らす、リデュース、リユースを積極的に活用する。
令和6年度	海洋資源や陸上資源が今後も安定して獲得できる社会。	森林開発を進めると同時に木を育てるなど森林再生に力を入れたり、日頃からCO2削減を意識することで、気候変動を抑えて、海洋資源をこれまでと同じように獲得できるようにする。
令和6年度	ブラック企業や働きすぎがない社会	SNSなどで働き方改善の声をあげる
令和6年度	治安や差別、お金の問題など、不安を持つ人が最低限になっている世界。	普段の暮らしの中では、偏見などを持たないように努め、他者を傷つける機会を減らすこと。将来化粧品を通して、女性がより伸び伸びと自分らしく生きられる世の中の形成に貢献したい。
令和6年度	自然災害についてや老後の年金、治安などさまざまな将来への不安がなくなる世界。	日本や世界で起きていることに常に興味を持ち、選挙に行くなどして政治に参加する。
令和6年度	限りある資源を大切にできる社会。	適切なおみの分別、エコバッグの使用、食べ残しを減らすこと。
令和6年度	ストレスを感じることなく過ごすことができる社会	まず、自分がされたらストレスになってしまうような行動(妬み、僻み、誹謗中傷など)をしないように心がけることで周りの人にも影響を及ぼし、とりあえず自分の周りだけでもストレスを減らすことで、いずれ社会からストレスがなくなるのではないかと考えます。
令和6年度	自然災害による被害や不安が少ない社会	防災意識の徹底 居住地選び

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	①私は、ジェンダー平等が実現され誰一人取り残されることのない社会・世界に住みたい。	②育でも多くの企業では、役員などにおいて女性の割合は低く、女性のキャリアアップは男性と比べて厳しいと感じる。これまでの時代背景や時の流れの影響があることは否めないが、女性ももっと積極的にキャリアアップをしたい、という意志を示していかなければならないと思う。私は社会に出たら、性別をネガティブに捉えず働きたい。私の母のように女性は妊娠や出産などで築いてきたキャリアを諦めなければならない人も多いが、その状況をもっと改善できるように政府や企業、社会に対して声をあげなければならない、という気持ちも強く感じている。
令和6年度	私が住みたい社会は、すべての人に平等に機会が与えられている社会です。平等かつ公平な社会は人によって基準が大きく異なるため、実現が難しいと思います。しかし、機会すら平等に与えられない社会は機会に恵まれなかった人があまりに可哀想なので嫌だと思いました。	すべての人に平等に機会が与えられる社会を実現するために、私は機会が与えられていない状況に気づくことが大切だと思います。例えば、LGBTQの方々の結婚です。私は、この問題がメディアで取り上げられるまでは彼らが結婚ができずに苦しんでいることに気がついていませんでした。だから、私たちが気づいて問題視することが普段から私たちができることだと思います。
令和6年度	自然が多くて楽しく生きていくのにたくさんの資金を必要としない社会	地球環境にやさしい生活を心がける、ものを増やしすぎずあるもので満足できるようにする
令和6年度	現時点で私が享受することができる生活の質が、死ぬまで保証される世界。	現在の社会・世界が抱えている多様な課題を正しく認識すること。
令和6年度	いかなる身体的特徴も個性として容認され、貶められることのない社会や、収入によるコンプレックスを抱き、他者を攻撃するような心の焦りが生じないような理性のはたらく社会	まずはコミュニティの中で、自分がそうでないことを周知していく必要があると考える。認めた仲間にそのような思考を持つ者がいると知るだけでも、それらに対する理解がより深まるはずである。
令和6年度	生活水準が高い社会。平等な機会が与えられた上で、努力によって自らの道を切り開くことができる世界。生き甲斐、働きがいがある社会。	発展途上国への支援。来年度から働く先で懸命に働き、自分を含めた関わる人全てを幸せにできるような労働を行いたい。
令和6年度	公共や社会のことも考えて行動している社会 偏見や決めつけで物事が決定しない社会 新しいことに挑戦している社会 環境(社会的も含む)がより良い社会(衣食住、人間関係、地球温暖化など)	<ul style="list-style-type: none"> ・現状や課題を知る ⇒調べてみる、少し取組んでみる、取り組みを発信する。 ・批判的思考で物事を考えてみる。 ⇒意見交換の時や話すときにその意見を話す。 ・どんな挑戦も応援する。挑戦を促す。 ・現状課題を知る、現地に行ってみる、意識してみる、少し取組んでみる
令和6年度	後の世代の人たちも自由に暮らすことのできる社会	少しでも将来の医療費を抑えるため健康意識を持とうとしている
令和6年度	人びとが自然と共生している世界	公共交通機関を積極的に利用する 植林をする
令和6年度	犯罪率が減少して欲しい。	自戒の念をもつ。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	現役世代に対する社会保障制度が充実し、子育てしやすい社会	現役世代の支援を公約に掲げている党への投票を行う
令和6年度	みんなが笑っていて平和な世界	困っている人を助ける
令和6年度	暮らしやすい平和な世界	人と争わない、他人の異なる考えを受け入れる
令和6年度	平和で、安心して生活できる社会の感じがあり、また、高い技術がどんどん進んでいるにつれて、生活が便利になる一方、競争性や自分の仕事を失わないようにする努力性を身につける必要がある世界であると思います。	今大学で学んだ専門知識を将来のやりたい仕事に活かし、目標としては、地域社会活性化に取り組みながら、より多くの人々に貢献できるプロジェクトを実現できるように頑張りたいと考えています。
令和6年度	人々が誰一人取り残されない社会	多数の傍観者のうちの一人にならず、誰に対しても気づかいすることがその一歩になると思う
令和6年度	私が住みたい世界は、環境資源で争うことのない世界です。持続可能な資源の開発や資源がとれない国でも工夫してエネルギーを生み出し無駄に環境資源を使わない仕組みを作ってほしい	私ができることは限られていると思うが、SDGsについて学び実践することが理想的な世界の実現に近づくための1歩だと考える
令和6年度	地球温暖化が急速に進み、夏はどんどん暑くなり、秋がなくなりつつあります。今までのように、春夏秋冬すべてがしっかりとある日本に戻ってほしいなと思います。	地球温暖化を抑制するために二酸化炭素排出量を減らす行動を心がけたいと思います。小さなことですが、詰め替え用商品を購入したり、マイバッグを持ち歩いたりなど、出来ることからコツコツと取り組みたいなと思います。
令和6年度	誰もが性別、年齢、国籍、宗教、文化的背景に関わらず尊重され、自分らしく生きることができる世界です。多様な価値観が共存し、それぞれが活かされることで、個人の可能性が最大限に広がる社会を望みます。	他者の意見や背景を尊重し、違いを受け入れる姿勢を持つ。差別や偏見に気づいたら、それを見過ごさず行動すること。
令和6年度	それぞれが自分らしく生きられる世界	それぞれの個性を認め、尊重する
令和6年度	金銭を理由に家族と離れなくて良い世界	現在ではひとり親への支援が充実しており以前よりもひとり親世帯が子育てしやすい世界になっているが、ひとり親ではない両親のいる世帯の支援は少なく物価上昇に伴って貧困に陥っている世帯も多く存在するためあえて離婚を選択する世帯がいるということを見聞きした。このような課題を解決するために政治に関心を持って選挙に行くことが私にできる解決策であると思う。
令和6年度	空気がきれいで、ごみの分別をせずによくて、生活必需品に大きなコストがかからず、環境など心に余裕ができてから考えることになる事案についてみんなが考えられる余裕のある世界。	ポイ捨てをしない。駐輪場を増やす。選挙に行く。
令和6年度	だれもが自分のやりたい夢に挑戦するうえで障壁や障害を感じずに済むような社会。	社会的、経済的弱者や障がい者が健常者と同じスタートラインに立てるようになるために今社会で行われている取り組みについて自発的に調べて興味関心を深める。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	何度でも挑戦・やり直しができる社会	何かに挑戦する人や、挑戦したが失敗してしまった人、躓いてしまった人を支援する組織を設立する。
令和6年度	・戦争的な争いがない世界 ・完全平等とまではいかなくとも世界中の人々が安心して安全に生活することができる社会・世界	上記に示した住みたい世界を実現する為の直接的な方法ではないかもしれませんがバイト先でゴミ箱を片付けるとき、必ず普通ゴミの中にペットボトルなどが含まれていないか確認し、分別するように気をつけています。将来できることとしては、お金が貯まればUNICEF等に募金して貧困地域の安全な生活に寄与したいと考えています。
令和6年度	皆が助け合える世界	毎日小さな手助けをする。 困っている人に手を貸す、話を聞くなど。
令和6年度	誰1人取り残されることなく、笑顔で夢を持って生きていける世界	相手の気持ちを考慮して発言・行動すること。仲間はずれを作らない。
令和6年度	ゴミの排出を最小限抑制し、人類共有の財である地球環境を未来永劫つないでいける社会。	洗い物が面倒といった理由で、使い捨てできる容器の食べ物で済ませるのでなく、極力ゴミが出ないように自炊を頑張ります。
令和6年度	私が住みたい街は、どの世代のどんな性別の人も安心して快適に過ごせるような場所である。また、人々間の不平等をなくす世界に住みたい。	私一人ができることは限りがあると思う。そこで、私ができることとして、「知る」こと「理解」することが大事だと考える。相手への理解を深めることで人と人の助け合いにつながると思う。
令和6年度	社会福祉が整っており、安心して安全なあたりまえの日常が送られ続けられる社会、子育てと仕事の両立ができる社会	自分の社会的責任を把握し果たすように生き、地域コミュニティへの積極的参加、社会貢献になるような活動、防災や防犯への取り組み、環境への配慮などといった行動をとること。子育てと仕事の両立ができる社会を実現することにおいては、社会の制度や世の流れがワークライフバランスに繋がっていくように、声をあげつづけることが大切であると思う。今の社会は、育休やワークライフバランスなどといった取り組みに積極的に取り組んでいるように感じるがその中でも陰口をいうなど育休がとりづらい環境を作り出す要因がまだあるように思う。そのため、周りに仕事の負担がかからないような働き方を導入するなど不満を生じさせず快適に仕事ができる環境づくりをしていくべきだと思う。
令和6年度	一人一人の意見が尊重される社会	言論統制などがない社会、自分の意見を否定されない社会
令和6年度	人々が不平等を感じる事のない社会	私は現在塾講師のアルバイトをしているため、今私にできることは私の手の届く範囲の学生さんに対し平等な教育のお手伝いをする事だと考えている。
令和6年度	高齢になっても健康な暮らしが提供されて暮らしやすく住み続けやすい世界。また人や国によって差別がなく平等で平和な世界。	街のバリアフリーにもっと目を向けたり、自分がこの先も働きがいをもてるかどうか吟味したうえで就職したり、今のうちからできる健康、予防をしておく。
令和6年度	私が住みたい社会は、すべての人が平等に尊重され、誰もが安心して暮らせる持続可能な世界です。貧困や飢餓がなく、教育や医療がすべての人に平等に提供され、自然環境が守られる社会を望みます。また、ジェンダー平等が進み、差別や格差がなく、多様性を尊重する社会であることも重要です。	省エネやリサイクルを積極的に行い、マイバッグやマイボトルを使用するなど、プラスチックゴミの削減に努めること。SDGsに関する知識を深め、周囲にも伝えることで、意識を広げる活動に取り組むこと。地域のボランティア活動に参加し、社会やコミュニティとのつながりを強めること。性別に関係なく公平に意見を聞き入れる姿勢を持ち、社会のあらゆる場面で平等を促進すること。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	別の授業にて複雑化する地域課題には、地域コミュニティの縮小が理由の一つとして挙げられていることを学んだ。私はその授業の課題において、児童虐待について調べたので、私が今考える住みたい社会・世界は児童虐待のない社会であるなど考える。児童虐待は家庭内の環境だけでなく、加害者が社会的弱者であったりするようなことも理由として挙げられ、私たちが当事者であることを強く感じた。このような、地域課題に対して社会全体で取り組むような社会に住みたいと考える。	私ができることには児童虐待に関心を持ち、また、それを広めることと児童虐待の通告であると考えます。児童虐待への関心が広まれば、その地域や国では児童虐待に対する政策やNPOなどの活動が活発になると考えます。そして、児童虐待の通告義務は全員にあり、きちんと遂行することで、保護者とその子どもを守ることができ、健全な社会につながると考えます。
令和6年度	「好き」を自由に、干渉しない、されない世界。	自分をしっかり持ち、誰の意見も尊重できるように人と関わる。SDGsは持続可能な開発目標ということもあり、技術革新に目がいきがちですが、それよりもまずは一人一人が他人を尊重することが大事だと考えます。例えばインターネットが日常生活の一部と誰もが考える今の社会では、匿名性から相手に暴言を浴びせてしまう人々を毎日目にします。技術革新だけでなくそれを使う人間も精神的に革新していくことが重要です。
令和6年度	私は、人種差別をできる限りなくて違う国籍同士の人が平和に同じ国に住むことが出来る世界を作りたいと思っている。	私自身、名前から日本の国籍ではないと容易に推測でき、もちろん小学生の時代から現在に至るまで何不自由なく暮らすことが出来ている。しかし、SNSの投稿や街頭演説で私の国籍の国が絶対的な「悪」として攻撃されているのを見るとやはり少し悲しい気持ちになってしまう。このような状況をできる限り少なくするための情報発信などが私にできる小さなことである。
令和6年度	環境保存を優先するあまりにサービスの提供に手間が発生したり、多様性を尊重するあまりに誰かの私利私欲が優先されてしまふ社会は望ましくないと私は思います。そのためSGDsと生活のしやすさが共存する社会であって欲しいと思います。	”SDGs”を掲げること自体にその企業を良く見せる力があるため、アルバイト先や就職企業を選ぶ基準として、企業がその力だけに依存しているのではなく貢献しているのかを考えることができると私は思います。
令和6年度	全ての人に平等な教育が与えられる社会。(都市部と地方による格差、いわゆる親ガチャなど家庭環境による格差の解消)	教育に携わるボランティア活動への参加、そういった活動をしている団体への寄付など。
令和6年度	どんな人も快適に暮らすことができる社会	譲り合いの精神を持って普段から生活することや有限資源の無駄遣いも減らしていきたい。また、社会人として働く中でも自分自身が叶えたい沢山の人をサポートするという想いを忘れずにいたいと思う。
令和6年度	私が住みたい世界は、地球温暖化が抑えられた世界です。なぜなら、年々夏の暑さが耐え難くなっており、生きづらくなっていると実感するからです。また、気温上昇だけでなく、海面上昇や台風の巨大化、豪雨、森林火災などの自然災害が引き起こされることで、さらなる被害、死傷者につながるからです。	ふだんの暮らしの中では、省エネや3Rの実践などの取り組みを意識し、継続的に実践することが大切だと考えます。さらに、こうした行動を人々みんなが心がけるようにするために、その重要性を発信していくことも大切だと感じます。
令和6年度	挑戦をするサポート体制が整っている社会 →挑戦にかかる費用(留学、転職など)の負担をしてくれる制度 →失敗をした時のサポート (起業で失敗して負債を抱えたときのサポートする仕組み、転職活動に失敗したときのサポートする仕組みなど) 以上が充実している社会が住みたい社会だなと考えている。	・周りの人がしようとしている挑戦を、真剣に向き合って応援する。 (精神的なサポート) ・周りの人が挑戦をする際に困っていること(人脈・技術など)に対して、自分自身ができる最大の手助けをする。 (技術面などのサポート)
令和6年度	ジェンダー平等が実現された社会	まず今できることとして、私がLGBTQを特別扱いせず、当たり前のこととして受け入れ、普通に接します。さらに将来的には、もしも私に子供ができたとき、愛には色々な形があるということを教えたいと思います。
令和6年度	現在、奨学金を借りて大学に通っている学生の立場として、日本国内ではもちろん、全世界の子供や経済的問題を抱える人々が、楽に教育を受けられる体制の整った社会に住みたい。	直接的にできることはあまり考えられないが、日本国内に限れば自らの参政権を使うことが、間接的にそのような問題を改善することにつながると考える。
令和6年度	平和でみんなが健康で元気に暮らせる社会	まずは自分が規則正しい生活をする。そして周りの人で体調が悪そうであったりとか、困っていたりしている人がいたら、助けてあげる。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	生まれた家の裕福さや教育への熱心さによって、子供達が教育の機会を得られなかったり、人生の進路が決まってしまう不公平な社会。	僕はいま千葉県庁から内定を頂いているので教育分野を扱う庁に入り、子供が若くして家計のために働かざるをえない状況にある家庭への金銭的補助や、SNS等の発達で勉強なんて～という風潮が広まっているように思えるので、学歴というものの現実を発信し良い意味で教育に対する興味を持ってもらえる場所を作りたいです。
令和6年度	私は若者の政治的関心が高い社会に住みたい。SDGsに向き合う際にも、個人で出来ることには限界があり、やはり国主導で動かしていく必要がある。そのためにまず、次の日本を担う若者の政治的関心を高め、SDGsに関わらず社会課題に真剣に向き合うリーダーを選んでいく必要があると考える。	個人に出来ることには限界があると思う。ただ、去年の衆議院選挙の際に私自身が感じたことだが、政治というものが意外におもしろいということを周囲の人に説いていくことはできる。このような地道ではあるが、一つ一つの積み重ねによってより良い社会の実現に貢献出来ると思う。
令和6年度	私は、自分も周りの人たちが幸せを感じながら生活できる世界に住みたいです。具体的には、経済的な格差や差別が少なく、誰もが自分のやりたいことに挑戦できるチャンスがある社会です。そして、自然や環境がちゃんと守られていて、次の世代のことも考えられるような持続可能な世界であってほしいと思います。また、いろいろな価値観や文化をお互いに尊重できる社会も理想的だと考えます。	正直、SDGsみたいな大きなことを聞くと、自分に何が出来るんだろうってちょっとプレッシャーを感じます。でも、今の自分でもできる身近なことを少しずつ続けることが大事だと思っています。例えば、環境を意識する行動を心がけることです。ペットボトルをできるだけ買わずにマイボトルを使ったり、ゴミをきちんと分別したりしています。あとはフードロス減らすために、外食でも食べきれない量を注文するようにしています。そして、人とのつながりを大切にすることです。周りの友人や家族と、社会の課題について話したり考えたりする時間を作りたいと思っています。自分一人で解決できなくても、いろんな人と意見を共有することで新しいアイデアが生まれるかもしれません。また、将来に向けての学びを深めることです。今大学で学んでいることを活かして、地域や社会に貢献できる仕事に就きたいと考えています。たとえば、モノづくり企業のイノベーションやSDGsに関連するプロジェクトに携わることができれば嬉しいです。完璧なことではできないけど、小さな行動を積み重ねることで少しずつ社会にいい影響を与えられるようになりたいです。
令和6年度	資源枯渇の心配をすることなく、安心して電気やガス、水を使えるような世界。今の私たちの生活は電機やガス、水などを自由に使うことができ、本当に恵まれていると感じる。このような生活がずっと続けられるような世界にしたい。	普段の生活においては、節電や節水を心がけることはもちろん、世界の資源の使用可能年数が何年かなどを調べ、危機感を持つことが大切である。また、将来は、家庭のエネルギー源を再生可能エネルギーにしたり、電気自動車に乗ったり、環境に配慮した製品を選んだり、資源を無駄にしない行動を心掛けていこうと思う。
令和6年度	環境にも人にもすべてに配慮した世界に住みたいと考えている。しかし、そのためには、現在のようなCSRが目的の形だけのSDGs対策だけでなく、全人類がSDGsを考えて行動すべきである。	日ごろからSDGsを意識しながら行動し、SDGsに真剣に取り組んでいる企業または、団体に所属できるよう努力すること。
令和6年度	いかなる人間にとってもあらゆる機会が開かれ、呼吸がしやすい社会。	自分こそが社会の一員であるという意識を持ち法律やモラルに違反することなく他人を思いやって慎重に生活すること。
令和6年度	多様な価値観を持つ人がいる中で、人のために我慢したり、妥協したりすることが幸せだと気付ける社会に住みたいです。	駅で困っている人がいたら声をかけたり、普段の生活において心配りを忘れないようにしていきたいです。
令和6年度	いじめのない社会	誹謗中傷は絶対しない
令和6年度	環境に負担をかけず、異常気象や地球温暖化がこれ以上進まない世界	ものを大量に消費するのではなく、1つのものを長く使いリサイクルする。移動時に車を使うのではなく、できるだけ徒歩や電車を使う。
令和6年度	全ての人が平等で暮らしやすいと思えるような世界	普段の生活では様々な人の意見を聞き、多様な価値観への理解を深めたい。私は万博のボランティアを行う予定なので、そこで国内外の様々な人とコミュニケーションをとることで、更なる知見を得ようと考えている。また、将来はまちづくりに携わりたいと思っているので、全ての人が暮らしやすいユニバーサルデザインあふれた街づくりに貢献したい。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	学校に行きづらい子供や、家庭に居づらい子供がどこかに居場所を見つけて、健康に自分らしく笑って暮らせる社会。	普段の暮らしの中では、塾講師のアルバイトで子供たちの成績の悩みだけでなく生活のことも話してもらえるような先生になる。将来的には子供たちの第2の居場所となる空間を提供できるような取り組みをしたい。
令和6年度	私が住みたい社会・世界は自然環境が保たれ、将来の世代が安心して暮らせる持続可能な環境が維持されている世界である。	環境負荷の軽減を心がけることである。レジ袋やペットボトルの利用を減らし、マイバックやマイボトルを持ち歩くことで無駄なゴミの発生を減らせるだろう。また、ゴミの分別を徹底しリサイクルを心がけたり、フードロスを減らすために余った食品は寄付や再利用したりすることも効果的だろう。
令和6年度	全ての人、動物などの生き物が快適に暮らせる世界。	私たちができることは、自分だけの世界ではなくみんなの世界だという意識を持つことが大切である。この意識があれば、ポイ捨てによって海の生き物が死んだりせず、モノをリサイクルすることで地球温暖化が進んで北極の氷が溶けホッキョクグマの生存が脅かされる心配もなくなるからである。
令和6年度	町が清潔に保たれていて、みんなが受けたい教育や医療を受けられる社会	大学を卒業したあとに就職して税金を納める
令和6年度	世界全員が健康でいられる世界。子供達が全員のびのびと成長することができる社会。	募金活動などでの貧困地域への支援。将来的に青年海外協力隊など自分自身でサポートできるようになりたいと考えています。
令和6年度	エネルギーや資源の枯渇に関する心配がなく、将来に対する漠然とした不安感を抱かずに過ごせる社会。	徒歩や自転車、公共交通機関を使うなど次世代に向けてまずはエネルギー資源を節約するよう努める。
令和6年度	みんなが笑顔な社会	自分発信で他人に嫌な気持ちにすることを無くす。
令和6年度	誰もが平等にチャンスを得られ、差別や貧困がなく、自然と共生できる持続可能な社会です。教育や医療が行き届き、すべての人が安心して暮らせる世界を目指したいです。また、環境への配慮が当たり前となり、次の世代にも豊かな地球を残せる世界であってほしいです。	ふだんの暮らしでは、無駄な資源消費を減らすためにエコバッグを使ったり、食品ロスを出さないよう心がけたりしています。また、地元の清掃活動やリサイクルに参加しています。将来的には、SDGsを意識した仕事やプロジェクトに関わり、持続可能な社会の実現に向けて具体的なアイデアや活動を広めたいと考えています。
令和6年度	私が住みたい社会・世界は生きている人々がそれぞれ自分なりの幸せを感じることができるような社会・世界です。欲張りな世界かもしれませんが、生きている人全員が前向きな感情を持って生活していけるような環境が世界中に生まれることが理想だと感じます。	思いやりを持った行動だけでは人を変えられないし、依存してしまうだけになるので変わりたいと前向きに思えるように背中を押してあげられるような言葉や行動ができることだと考えてます。
令和6年度	将来に希望を持てる世界。	今の日本では特に政治が問題だと思う。これからの日本がより良い国になるため参政権を持つ国民一人一人が自覚を持って、日本の将来について真剣に考えて投票に行くべきだと思う。
令和6年度	誰もが安心して不自由なく生活できる社会。	社会は人と人との助け合いの上で成り立っているので自分が困った時に助けてもらえるようにするためにも、普段から困っている人を助けるようにする。当たり前のことですが駅や街中でも困っている人に見向きもせずにその場を去っていく人が多いので、そういった身近なところから意識ができていなければもっと大きな取り組みを実現することはできないと思います。たとえそれが他人でも手を差し伸べることが私のできることだと思いました。
令和6年度	将来世代と今の世代両方のニーズを満たせる社会を作るために人口の多い層を優先するのではなく、人口の少ない層、今でいうと高齢者だけでなく若者に対しても社会的に有利になるような政策を行って両方ともに与えられるメリットを平等にしてほしいなと思う。	そのために私ができることの中で一番容易なのは選挙に行くことだと思う。しかし高齢者にとってより良いマニフェストを掲げている人のほうが人口が多い層からの支持を得られるため、我々若年層はできるだけ選挙に参加し、前者ができるだけ票が分散することを祈るしかないと思う。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	やりたいことがやれる社会。	性別などの偏見にとらわれない。
令和6年度	自然を守りながら共生できるような世界	ゴミの分別や無駄なゴミを無くすなどの当たり前でできることを当たり前にする
令和6年度	資源を有効に活用して持続的に社会機能を維持続けられて、将来的にも不自由なく快適に生活し続けられるような社会	電気やガスなどを無駄遣いせず、水も無駄遣いしないようにしてできるだけ再生可能エネルギーを利用するようにする。
令和6年度	働きがいと経済成長の両立を実現し、質の高い教育や福祉、環境保全等の未来への投資を行う世界	自分にとって働きがいを感じられそうな会社に就職する。そして幅広い、大規模なフィールドで活動し、経済成長に寄与し、また事業を通して多くの人の生活を豊かにしたい。
令和6年度	他人同士が思いやりをもった温かい社会でありつつ公平・公正が担保された中で皆が競争しお互いを高め合っていく社会	公正・公平が担保されるためにはまず格差や貧困をなくすことが大切となると思う。そのため政策や政治においてその不平等性を解消するために選挙に積極的に参加したり、地域貢献などのボランティア活動などに参加しそこで貧困や格差について解消の手助けをするとともにそれについて学ぶ必要があると考える。
令和6年度	家事育児などの仕事を性別関係なく、夫婦で分担することが当たり前である世界	風潮に流され、自身が女性という立場を利用して男性に求める人になるのではなく、こちらの女性側からも男性側に寄り添い、男女平等を目指すこと。
令和6年度	街にゴミが一つも落ちていない、緑豊かな世界。	ポイ捨てによる罰則を厳しくし、緑は特に住宅街が多い場所に植物を植えていく。
令和6年度	人々が平等に機会を持てる社会	まずは自分自身が偏見や固定観念を捨て、平等を望む志を持つこと。その上で将来なにかしらの権力を得た場合は、その志をもとに人々に平等の重要性とその可能性を説き、様々なことに対して、人々がそれぞれ持ち得る社会的弱点までも踏まえて平等な観点から決定を下すこと。このように自分やその周りの人々などの小さい部分から変えていくことが自分にできることだと思う。
令和6年度	私が住みたい社会、世界は人々が笑顔で生活できる世界です。	SDGsの観点で理想の社会の実現のために私ができることは、SDGsの内容をもっと深めることです。私含めSDGsの名前は聞いたことがあってもその内容を詳しく把握している人はいないと思います。高校時代SDGsの達成目標であるひとつの「飢餓をゼロに」に対してフードロスの観点から調べプレゼンをするという課題をしたことがありますが、それ以降自分の中で食材を大事にする行動ができるようになったと思っています。このようにSDGsの内容を深める課題を推奨することで、暮らしやすい世界が指せると思います。
令和6年度	すべての人が身体的・精神的に健康で幸せに暮らせる社会	身近な人の悩みに耳を傾け、思いやりのあるコミュニケーションを心がけることで、他者のウェルビーイングをサポートすること

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	私が住みたい世界は、ありきたりかもしれませんが、優しさにあふれた世界です。今の世の中も十分優しさにあふれた世界かもしれませんが、まだまだ見えないところで他人を尊重できなかつたり、誰かを攻撃したりするような悲しい現実が無数に存在しています。私自身も優しい人であり続けることを常に心がけているものの、どこかで自分の偏った考えを優先して誰かを傷つけてしまうことがあります。老若男女、マジョリティー、マイノリティー問わずみんなが幸せに生きられるように、一人一人が優しさをもって生きられたらと思います。また、人に対してだけでなく、ほかの生物や環境、モノに対しても優しさを持つことができたらより世界が優しさであふれるのではないかと考えます。	まずは、思いやりのある行動です。感謝の気持ちを伝える、電車で席を譲るなど日常の些細な行動の連鎖が優しさにあふれる世界の実現に直結すると思います。次は、共感と理解です。異なる立場の人の気持ちを理解しようとする姿勢をもち、共感することで信頼関係が築かれると考えます。次は、ボランティア活動です。地域や困っている人々のためにボランティア活動に参加することで優しさを広めることができると考えます。最後は人、モノを大切にすることです。これまで出会ってきた人たちや、これまで使ってきたものを長く大切にすることは優しさの証だと考えます。日々、新しい出会いに目を向け、これまでの出会いを忘れてしまうとそれまで築き上げてきた関係が薄れてしまいます。人や物を大切にすることで感謝の心がはぐくまれ、優しさを持つ人間として成長すると思います。
令和6年度	誰もが平等にチャンスを得られる世界	普段のくらしのなかで偏見をなくすこと
令和6年度	私の地元は鹿児島県だが、大阪に上京してきて地域に広がる格差や利便性の差異を大いに実感した。それと共に鹿児島県の持つ魅力についても理解できた。そのため住む地域で格差のない、自分の住んでいる地域の魅力を最大限享受できるような世界に住みたい。	①私は将来、IT企業の自治体向けの営業に携わるが、そこではIT技術を利用し、交通インフラの開発や市役所の窓口業務の改善などを行える。実際、宇都宮市に交通インフラを導入し移動格差をなくすという目的を達成した事例もある。このように将来自分の務める会社で事例のようなことを達成し、自分の住む町に対して利便性と魅力を感じ取れるよう社会貢献を行っていきたい。
令和6年度	戦争がない世界で、個々の個性や考え方、文化が尊重され差別などがない社会 自分の意見を恐れずに発信できる社会	他の国や考えが違う人を一概に否定することはせず、受け入れて理解すること
令和6年度	全ての人々が医療や教育を平等に享受できる世界	全ての人々が教育や医療を享受するためには世界にある経済的な不平等を解決しないといけない。一学生の私が世界の経済的な不平等に触れるためにはフェアトレードの製品などを買うことやボランティア活動に参加することで少しでもそのような世界へ寄与できるのではないかな。
令和6年度	ゴミの少ない社会	普段からゴミを見つけたらゴミを拾います。
令和6年度	現在と未来においてあらゆるひとに利益・幸福がもたらされる社会	SDGs実現のためのプログラムを行うためのクラウドファンディング等に支援する
令和6年度	僕は、誰もが譲り合いのできる社会に住みたいと思う。時々、電車で優先席でなくても高齢者や多くの荷物を持った人に席を譲る人を見ることがあり、このような人がもっと増えれば良い世の中になると思ったからだ。	一度でもいいから自分から勇気を持って席を譲ることで、席を譲ることへのためらいをなくす。
令和6年度	私が住みたい社会はお互いがお互いのことを思いやることのできる社会です。SDGSにもこの思いやりは必要です。人々が自分のことだけでなく自分以外の人や社会全体のことを気にかけて生活を送ることがSDGSにもつながることがあると考えられます。	そんな社会にするためには一人一人が他人や社会を思いやる意識を持つことが不可欠です。私自身としては、他人の行動は自分では変えることができないので、自分の行動を見直すことが大切と感じました。
令和6年度	すべての人が健康寿命=寿命を達成できる世界。	自らは運動の習慣を付け、健康増進に努め、将来的には、第一志望である食品、飲料メーカーに就職し、簡単に、味わいながら健康を維持できる商品をつくりたい。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	人々が共存し、誰かを思い遣って生きている世界	相手の立場になって考えること、食事を残すときでも自分は満足に食べているが、食べれていない人もいるのに残すのはどうなのだろうか。などといったことを考えるだけでも未来は明るいと思います。
令和6年度	偏見や固定観念などで他人から自分の生き方を決め付けられない社会。	自分が持っているものの見方や価値観が自分の勝手な思い込みや固定観念である可能性を考え、全てリセットし、まっさらな気持ちで世界を見る
令和6年度	どうしても避けられない自然災害によって苦しむのは自分にもいつ降りかかってくるのかわからないので災害に巻き込まれたときの負担を少しでも少なくできるような社会。	大学生になるとアルバイトをして自由に使えるお金を得ることができるので、それを自分のためだけでなく災害に巻き込まれて苦しんでいる人のために募金という形で支援すること。
令和6年度	私は本当に必要としている人に必要なものが届けられる社会に住みたい。	普段の暮らしの中では、節電・節水、食べ残しをしない、ポイ捨てをしない、ゴミの分別をするなどの小さなことしかできませんが、ひとりがちょっと気にするだけで、そのひとりが何億人という規模になれば大きな変化につながると思います。また、知らない人や遠い人の助けになることは難しいですが、身近な人で困っている人がいたら、親身になって話を聞いて、こんな社会保障があるんだよと説明するだけでもその人の選択肢が大きく広がることにつながるのかなと思います。近くにある小さな困りごとを解決できる人になりたいです。
令和6年度	悪くない人がSNSなどの炎上などで社会的に追い込まれることがない世界。	誰かが傷つくような発言はどのような場においても慎む
令和6年度	戦争や紛争がない世界。 ニュースを見ていて、政府や組織に関係のない小さな子供や人々が空襲を恐れながら過ごしている光景や、怪我を負い家族を失っている現実が受け入れがたい。 貧困がない世界。 生まれた国の経済発展によって幼いころから労働をするしかない選択や十分に医療を受けることが出来ない子どもがいる現実が辛い。誰もが将来の選択肢を自由に選べ、医療を安心して受けることができる世界であってほしい。	戦争に関心を持つこと。戦争に対して直接的に阻止する力は持っていないので、少なくとも、そのようなことが起きている現実や経緯等は知っておくべきだと思う。 貧困に関しては、募金やボランティア等、自ら行動し直接的に支援ができると思う。
令和6年度	みんながそれぞれの違いを尊重できて、人に優劣をつけるという概念のない世界	違いを尊重するということについては、今どんなにリテラシー観念が進んでいる国でも完全には達成されていないことで、とても難しいことだと思います。ましてや何十年と欧米諸国に比べ遅れていると言われる日本はより難易度の高い課題です。私は日本は大好きですが、国の中枢に立ってその課題を根本から解決したいというようなエナジーはなく、そこに向き合っていく人生は望みません。しかし、一人間としても将来子供ができた時、子供と接することがあった時、家庭環境や性格、身体的特徴などいろいろな違いについてフラットに伝えられると良いと思います。違いに対して一度でも優劣をつける癖がついた大人より、純真な子供、いわば日本の未来の様な存在にそれを伝えられた方がより効果的と考えたからです。
令和6年度	先天的なもので差別されない努力が評価される世界	成果主義の仕組みを増やす。
令和6年度	環境が保護されてる世界、地球温暖化が抑制された世界	再生可能エネルギーの使用、プラスチックごみの削減、エコ商品を選ぶ。
令和6年度	sdgsの3番の観点から、いまだにホームレス問題が解決できてないため、すべての人々が福祉をしっかり受けてない状態です。そのため、すべての人々が最低限の福祉が受けられる社会に住みたい世界だと考えます。	官民一体になることが非常に重要だと考えます。そのため、ホームレス問題を解決している団体に所属しながら、解決策と一緒に模索していきたいです。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	多くの人が自由に過ごせるような世界	最低限の生活の水準を上げるために募金を行う
令和6年度	無駄なごみが排出されることなく廃棄物を再利用できるエコな社会	リサイクルできる商品を使う
令和6年度	自分が住む社会・世界に誇りを持てる世界。	自分たちが住む地域のすばらしさ、地域の価値を再認識すること。
令和6年度	先進国の人々が、途上国の貧困層の人々を救う意識を持っている世界。	フェアトレード商品を選ぶことであらゆる貧困層の飢餓や病気を防ぐ。エコバックの使用が地球温暖化の抑制に寄与し、気候変動による災害で命を落とす人々や動物を救う。節水を心掛けることで清潔な水を手に入れることが困難な人々の命を救う。私たちにとっては些細な気遣いが巨大な力となって世界中の人々を救うことができる。
令和6年度	普段思っていた理想的な社会・世界には様々なものがある。第一に、環境に優しい社会であり、今まで提起されてきた様々な環境問題の解決に向かい、未来に対する懸念を一部分減らしておきたい。また、貧困のない平等な社会は、現実的に不可能であることは承知であるが、アフリカ各地などで多発している極端な貧困は解決すべきだと思う。最後に、次世代に責任を先送りしない社会に住みたい。	日常生活の中でできることは何があるかという、第一に、環境に優しい生活をする事である。節電・節水を実践したり、エコバッグを使用したり、リサイクルに心がけることなどがある。また、 unnecessary消費を抑えることや、困っている人や団体に寄付することも考えられる。
令和6年度	新社会人になってから、信頼を持って年金を払える社会。税金は高すぎても、必要などころに使われればいいが、それぞれが投資して良いと考えている部分が異なるから、現実的に税金は西ヨーロッパのように高すぎないほしい。また、私が思う理想的な社会像は出身や宗教、障がいなどの差別がなくみんなが気軽に自由に交流できる社会だ。なぜなら、自由な交流から総合知が生まれ、その過程で互いを尊重しながらよりみんなが暮らしやすい社会ができるためだ、これは制度や福祉に限らず、多方面で持続可能な開発にも繋がると思う。	私は現在、日本で大学に通っている韓国出身の留学生であって、韓国人留学生会の学内の団体で日韓だけではなく様々な国籍と交流するイベントの開催に取り組んでいる。この活動は互いを知ることで世界平和にもつながると思う。また、私は将来、組織コンサルタントになる目標も持っている。これは将来日韓さらにはよりグローバルなビジネスの懸け橋になるのが目標である。多様な背景の人々が良いサービスや商品を開発できることに限らず、様々な顧客に配慮して価値を創ることができると思う。
令和6年度	災害が多く、特に南海トラフ地震の発生が予想される現在の日本社会、とりわけ大阪において、災害の影響を最小限に抑えつつ発展し続けていけるような世界。	環境・防災の問題について一人一人が日頃から意識すること。例えば、電力の使用量を抑えること、ハザードマップを確認することなど。
令和6年度	誰もが平和に穏やかに暮らせる社会になってほしい。	平和に暮らすには何よりも安全に健康に過ごすことが大事なので地震などの天災は仕方ないにしても人間活動による気候変動から起こる災害などは起こらないようにすべきであると思う。なので普段からマイボトルを使うなど気をつけられるところは意識して気をつけたいと思ふ。ただプラスチックストローを廃止して不慣れな紙ストローにするなどは少し違うと感じた。
令和6年度	無駄がない世界。過ごしやすい気候で過ごしたい。夏は暑すぎるし、冬は寒すぎる。地球温暖化という言葉を目にしたくない。	とにかく節電。日頃から無駄をなくすことからスタートする。また、将来的には新しい電気や生活の形を世帯で作れるように。
令和6年度	絶対に生きること困窮することのない社会	行政の方向性を決める選挙において適切な判断のもと投票する
令和6年度	争いのない社会	自分勝手な行動をしない。出会う人に優しい気遣いをする。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	私が住みたい社会は、すべての人が自分らしく生きられ、環境と共生しながら平和で持続可能な未来を築ける世界です。SDGsの「誰一人取り残さない」という理念を大切に、特に貧困や不平等の解消、環境保護、ジェンダー平等に取り組む社会が理想です。大学生として、身近なエコ活動や多様性を学ぶ機会を活かし、小さな行動から取り組んでいきたいです。	ふだんの暮らしでは、エコバッグやマイボトルを使い、ゴミ削減や食品ロス防止に努めるなどのことができます。また、多様性を尊重し、ジェンダーや環境問題について大学の講義などを通して学びます。将来は、自分の学びを活かして、社会課題解決に貢献する活動に取り組みたいです。
令和6年度	頑張っている人、正しいことをしている人等、評価されるべき人ががきちんと評価される世界	自分が常に正しい行動をしていく
令和6年度	争いがなく平和な世界で、国籍や人種関係なく助け合える世界。1人1人の命が大事にされる世界。	偏見などで差別をせず1人1人を尊重する。優しい心を持つ。
令和6年度	一人一人が希望を持っている社会	一人一人の意見を尊重すること。また、助けを求めている人に手を差し伸べること。
令和6年度	環境にやさしい社会	買い物でビニール袋を毎回消費しないためにマイバックを持ち込んだり、古着を選ぶことで新しい衣服の過剰な消費を抑えるなど、物の消費を削減する。
令和6年度	避難所に逃げなくていい世界。災害が発生した際に、近くの小学校や公民館などの避難所に行った場合、狭い、周りが気になる、などストレスのかかる生活が強いられると感じている。そこで自宅で安心して「籠城」できるような世界を作り出したいと感じている。	主に2つあり、1つ目は耐震基準を満たした高強度な剛性の高い家に住むこと。実際に私が就職する企業では鉄骨ラーメン構造を用いたユニットを組み合わせる工法を採用しており、高強度の家の提供、実際に自分が住むことを可能にしている。2点目は食料の買い込み、およびその食料の流動性を上げることである。賞味期限を把握しながら食品を買い込み使うことで数日間の食料を確保することができる。
令和6年度	皆が現状や将来に不安を感じる事が少なく、貧富の差はあれど、好きなことに挑戦できるような世界。また、現代は人々が細かなことに敏感で生き急いでいるように感じるので、もっと心に余裕を持って楽観的にのびのびと生きれるような世界を望みます。	社会が持続可能なものにするために、環境に優しいものや、資源を使用する。ネットの利用リテラシーも重要になると思うので、正しい使い方をする。
令和6年度	みんながお互いのことを考えて生活していける世界	自分に都合がいいから、とって、変なゴミの捨て方をしない。
令和6年度	子どもたちが笑える社会	常に人の役に立つことを意識しながら生活する
令和6年度	ゴミが落ちていない世界	普段の生活の中で自分が捨てることのできるごみを拾って捨てる
令和6年度	私が住みたい社会は、誰もが平等に安心して暮らせる、持続可能な世界です。	リサイクルやごみの分別、マイバッグやマイボトルの使用、節電・節水を心がける。地域経済を支え、輸送に伴う環境負荷を軽減するために地元産品を購入する。SDGsや環境問題について自分が学んだことを周囲に伝え、行動の輪を広げる。地域の清掃活動や社会福祉関連のイベントに積極的に参加する。教育やスキルアップを通じて、より良い社会を作るための役割を果たす準備をするなどのことができます。
令和6年度	差別がなく平等な社会	偏見をなくす

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	人間だけでなく、その他動植物も共存できる持続可能な社会。	普段の生活の中で、リサイクルを徹底し、ゴミの分別を適切に行うことで環境負荷を減らす。また、エコ商品や地産地消の食品を選び廃棄物を減らすことで自然への負担を軽減して、生態系を壊さないようにする。
令和6年度	全ての人間が目標に向かって物事に取り組み、その過程で得た出会いや経験、知識などを十分に享受できる世界	常に平等と公平について思考し、自分と違う立場の人の考え方や取り組みを受け入れることができるように知識をつけること
令和6年度	僕が理想とする社会・世界は、多くの人々が平等に機会を享受できる世界です。現在の日本社会では、経済的格差や教育機会の不均等が依然として存在しており、それが個々の人生に大きな影響を与えています。私が住みたい世界は、これらの格差ができるだけ縮小され、すべての人々が学問やさまざまな分野で平等なスタートラインに立ち、努力次第で自分の夢を実現できる環境が整っている社会です。また、環境への配慮が社会全体で重要視される世界も理想的です。現在、プラスチックごみなどによる自然環境への負荷や破壊が進んでいます。このような現状において、一人ひとりが環境問題に対する意識を高め、持続可能な社会を実現することが急務だと考えます。私たちの生活がどれほど環境に影響を与えているかを理解し、その影響を最小限に抑えるための取り組みが重要です。さらに、できるだけ多文化共生が進み、異なるバックグラウンドを持つ人々が互いに理解し合い、共に社会を築いていける世界が望ましいです。こうした社会が広がることで、より良い世界が築かれると信じています。	そのような理想の社会を実現するためには、まず日常生活における意識改革が必要であると考えています。例えば、環境問題に対しては、プラスチックごみを減らすために、使い捨てのプラスチック製品をできるだけ避け、リサイクル可能な素材を選ぶことを普段から意識しています。また、食料品の購入時には、必要以上に買わず、無駄を出さないよう心がけることで、食品ロスの削減に努めています。こうした日常の小さな取り組みが、持続可能な社会の形成に寄与すると考えています。さらに、教育機会の平等を実現するための取り組みとして、現時点では自分にとって実践が難しいものの、将来的には地域活動への参加が有効だと感じています。例えば、教育格差を縮小するために、地域の子どもたちへの学習支援や、困難を抱える家庭へのサポートに取り組むことが考えられます。また、大学内外での学びの場の提供や、他の学生と協力して実施するワークショップを通じて、知識や情報を広めることも重要な取り組みの一つです。将来的には、起業や非営利団体の立ち上げを通じて、自分が育った街や都市が抱える社会問題に対して、直接的な解決策を提供することにも挑戦したいと考えています。これらの取り組みを通じて、持続可能で平等な社会の実現に貢献できるよう努力していきたいです。
令和6年度	私が住みたいと思える社会は、とにかく平和な社会です。一口に平和な社会といっても難しいですが、人が理不尽に不幸を被ることが無いようなものを想像しています。	先に挙げたような社会を実現しようとしたら、途方もないほど課題が山積みなことは分かりきっていますが、SDGsには差別や飢饉をなくすなど平和な社会に不可欠なものが多く掲げられています。その中でも自然を大切にしたり差別意識を持たないといった事は個人でも出来ることだと思うので、ゴミの分別を徹底するなど普段の生活における小さなことでも意識してSDGsの大きな目標に繋げていきたいです。
令和6年度	自然と共生した、都会の中にも緑あふれる社会	自然環境に配慮のある会社や団体の商品を選んで買う
令和6年度	空気が澄んでおり、将来に対する不安が少なく、動植物と人間が共生できている世界。	車やバイクではなく、公共交通機関を使うことで温室効果ガスを発生させないようにすることや、環境意識を強く持って、地球温暖化を進行させるような行動をとらない。
令和6年度	放置されたゴミが一切なく、衛生的にも見た目的にも綺麗な社会	ゴミは持ち帰る。ゴミ箱に捨てる。
令和6年度	世界に住む人々が皆違いを認め合うことができる世界です。	僕自身が皆の違いを認めることで、そういった心がけが広がるようにします。
令和6年度	人種差別のない世界	他国の文化について理解を深め、多国籍な人々と交流する
令和6年度	持続可能な社会で、私たち以降の世代にとって、今よりも住みやすくなる社会。	居酒屋のバイトにて、疎かになっているゴミの分別を見直す。先日、ゴミの分別に関する注意喚起の紙をいただいた。この紙を参考に分別を行う。 また、近い距離は車を使わずに歩き、将来買うことになる車は排気ガスに配慮した車を購入する。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	みんなが笑って暮らせる社会	周りの人と手を取り合い自分勝手にならないように生きる
令和6年度	一人一人が他人に対して仲間意識を持ち、様々な課題に対して社会全体が積極的に取り組んでいく社会。	身の回りで起きていることやニュースを他人事だと思わずに、目や耳を傾け興味を持つてみる。
令和6年度	私は持続可能な社会に住みたい。世界中のみんなが餓死することなく、幸せに暮らせる機会が平等に与えられた社会が理想だ。また人々の幸せだけではなく、動植物にとっても生活しやすい社会であればなお素敵だと思う。	「持続可能な社会を構築しよう」という意識を持つことが最も重要だと考える。「自分さえよければ、今よければ」の意識を改革すべきだ。その意識改革によって、一人一人の小さな行動が変わり、世界単位で考えると大きな前進となる。例えば日常生活の事で考えると、食べられるだけの量を買う、電気・水の無駄遣いをやめる(歯磨き中は水を止めるなど)、モノを使用期限の限界まで使用する、などがある。このような些細な行動が、世界中の人々のため、さらには次世代のためになることを私も含め再認識すべきだ。
令和6年度	私が住みたい社会は、持続可能で誰もが安心して暮らせる世界です。 具体的には、環境負荷を最小限に抑えながら経済活動が成り立ち、教育や医療が平等に提供できる社会です。 また、個々の価値観が尊重され、すべての人が自分らしく生きることができる社会が理想です。 特に、地域社会においては、地元の資源や文化を活かしながら、新たなテクノロジーを取り入れる姿勢が大切だと考えています。	ふだんの暮らしの中でできることとして、 エコ意識を持った生活をしていこうと思います。省エネルギーや再生可能エネルギーを活用した生活を心がけたり、ごみの分別やリサイクルを徹底し、できるだけプラスチックの使用を減らす。 また、地元の農産物や製品を選び、地域経済の活性化に貢献することもできると考えます。 将来できることとしては、 大学で学んだ知識を活かし、持続可能なビジネスモデルの開発や地域活性化に取り組むことや、自身のキャリアにおいて、社会課題の解決を目指すビジネスを展開することが挙げられる。
令和6年度	酷暑などといった気候変動や異常気象が小さく、環境への負荷が小さく持続可能な社会で、さらに街にサービスが行き届き、将来への不安がなく過ごすことのできる社会や世界に住みたいと考える。	SDGsへの取り組みを積極的に行っている商品や企業のサービスを意識的に選ぶようにし、コストで選ばれるのではなく、環境に配慮されたものが積極的に選ばれるような社会づくりに貢献する。また、SNSに関する取り組みについて知るようにし、周りに広めていくよう意識することが、できることであると考えます。
令和6年度	高齢者になっても安心して暮らせる社会。	年金・保険制度について知識をもつこと。また、それを踏まえて政治に少しでも関心をもって選挙に行くこと。
令和6年度	空気が綺麗な世界	できるだけ省エネ行動を取るようになる
令和6年度	世界全員の将来の可能性を狭める事象がない、または全員が同じ条件でなくても差が埋められるサポートがある社会。たとえば家の仕事を手伝う必要があるため学校に行けない、周りにいないから「宇宙飛行士になりたい」とすら思いつかないことは、将来の可能性を大きく狭めていると思う。	当事者意識をもつこと。 自分が不自由なく暮らしているから、後回しにしてしまう。 また「意識高い系」を怖がらないこと。 環境問題や社会情勢について真剣に考えたり、取り組んだりすることは「意識高い系」だと言われたりするが、それに怯えず自分を貫くことが大事だと思う。誰かが表明しないと誰も言い難い雰囲気になってしまう。
令和6年度	人種、国籍に関わらず同じ人間として接し合える世界	差別、偏見などを持たず相手のことを知ることを大切にする。

年度	①あなたが住みたい社会・世界はどんな世界ですか？	②そんな社会・世界を実現するために、あなたができることなんですか？ (SDGs宣言)
令和6年度	地球の資源やエネルギーに不安のない社会、いわゆる持続可能な社会に住みたい。	エネルギー問題に当事者意識を持つこと。
令和6年度	現在、自分たちの日常には当たり前のように飲むことができる水があり、当たり前のように登校する学校があり、当たり前のように休日は友達と遊びに行くように、世界のどこかで戦争が起きてもスマホの画面で認識していて裕福であることはいいことだが、少し平和ボケしていて、このような世界が子供、孫、さらにその下の代にも続いていくと思っている。しかし、世界だけでなく日本にもそのような幸せな暮らしが出来ていない人がいることを忘れてはいけないと思う。私はそのような人たちの存在を忘れない、その人たちのためにまずは小さく一歩踏み出して行動できる社会を目指していきたい。	普段から自分の事だけでなく、一歩自分から離れた人の存在を意識して生活することが大切だと思う。ゴミが邪魔だからポイ捨てをすると周りの人、拾う人がいて、ご飯を残すとそれを作ってくれた人、捨てる人がいて、大袈裟かもしれないがこの一歩自分の外の人の存在を考えてみることの積み重ねが私が望む社会を実現させるための近道だと思う。
令和6年度	変化という刺激が常にある世界。	人間が意図的に起こしていることでも人工的ではあるが人も生物なので自然なことだと思っている。したがってSDGs実現のために自分は特に何もしようと思わないので何もしない。他の人がSDGs実現に貢献するのも人間という生物の自然な営みだと思う。
令和6年度	貧富の差に関係なく好きなことが学べる世界	私の教えられる分野(語学など)を非営利団体に参加して、子どもたちに教える。
令和6年度	技術発展と環境保全が両立された社会	限りある資源を有効に使うため、エコバッグやマイボトルなどを利用する。
令和6年度	誰一人お金に困らない社会	自治の仕方に対して意見をいう